

**国東市第9期介護保険事業計画等策定に向けた
民生委員・児童委員アンケート調査
【結果報告書】**

**令和5年11月
国東市**

目次

I. 調査概要	2
II. 民生委員・児童委員アンケート調査《集計結果》	3
1. 民生委員・児童委員の活動について.....	3
2. 認知症について.....	26
3. 成年後見制度について.....	34
4. 民生委員・児童委員の活動を通じての意見や要望、課題.....	42

I. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の策定に資するために実施するものであり、高齢者支援を担う地域福祉団体である民生委員・児童委員を対象に、地域での活動状況及び認知症、成年後見制度についての理解や地域実態、活動についての意見や要望、課題等を把握し、これからの施策の展開及び充実を図ることを目的としている。

(2) 調査対象者

国東市内の民生・児童委員（主任児童委員を除く） 109名

(3) 調査方法と調査期間

調査方法：各地区定例会にて調査の趣旨説明を行い配布、郵送にて回収

調査期間：令和4年10月4日～令和4年10月31日

(4) 回収結果

回収委員数	回収率
88	80.73%

(5) 報告書を見る際の注意点

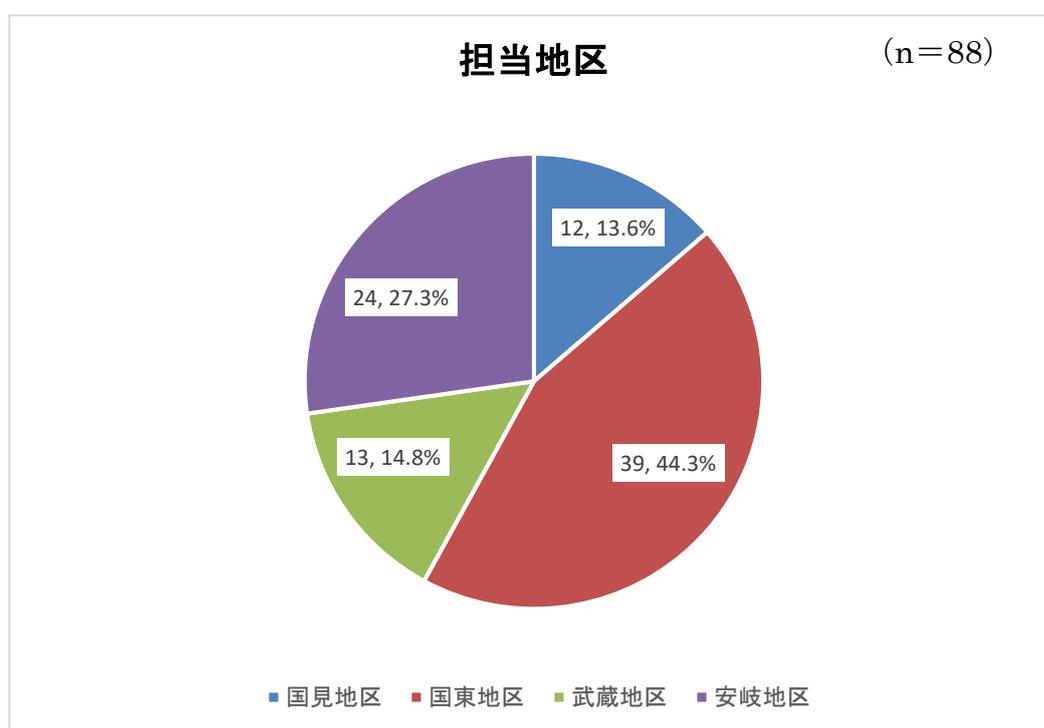
○調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。

○図表中の「n」とは、その設問の回答数を表す。

1. 民生委員・児童委員の活動について

問1. あなたの担当地区を教えてください。

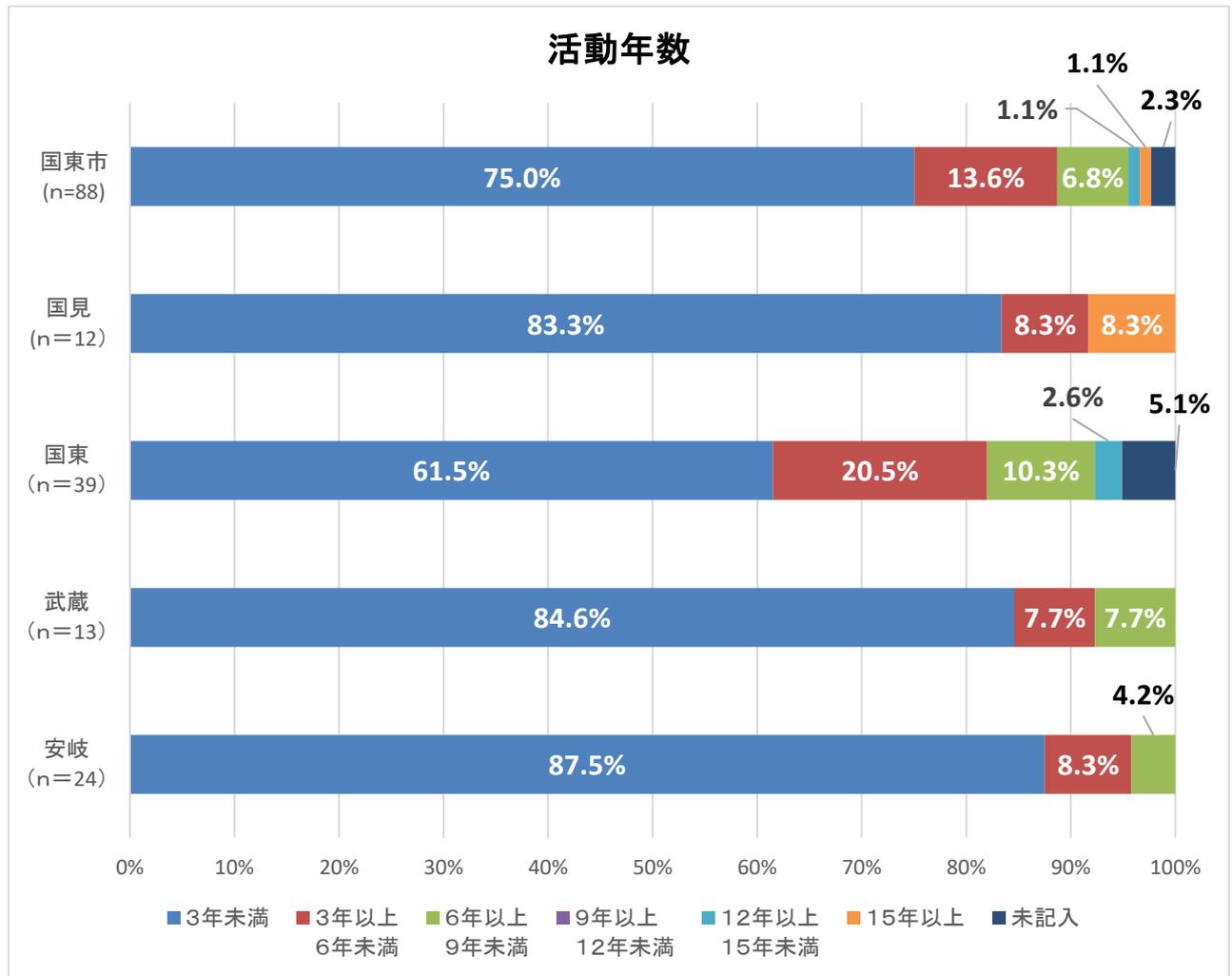
担当地区の内訳としては、国東地区が最も多く、次いで安岐地区、武蔵地区、国見地区となっている。



問2. 民生委員・児童委員としての活動年数を教えてください。(〇は1つ)

民生委員・児童委員の活動年数は、「3年未満」が75.0%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が13.6%、「6年以上9年未満」が6.8%、「12年以上15年未満」が1.1%となっており、就任1期目の人が多い。

その中で、国東地区は「3年未満」が61.5%と一番少ない。

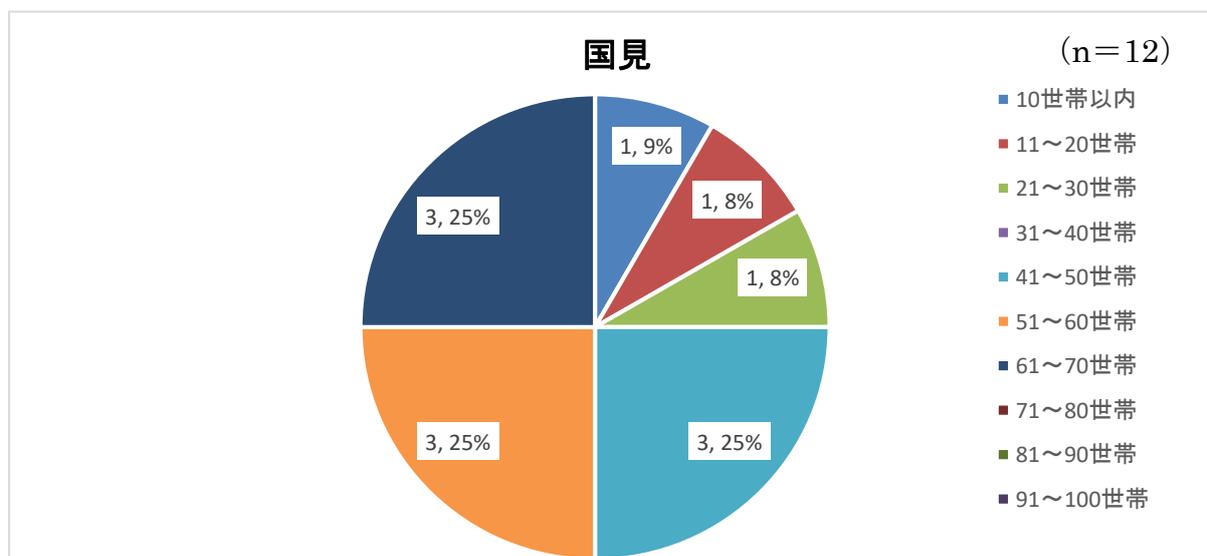
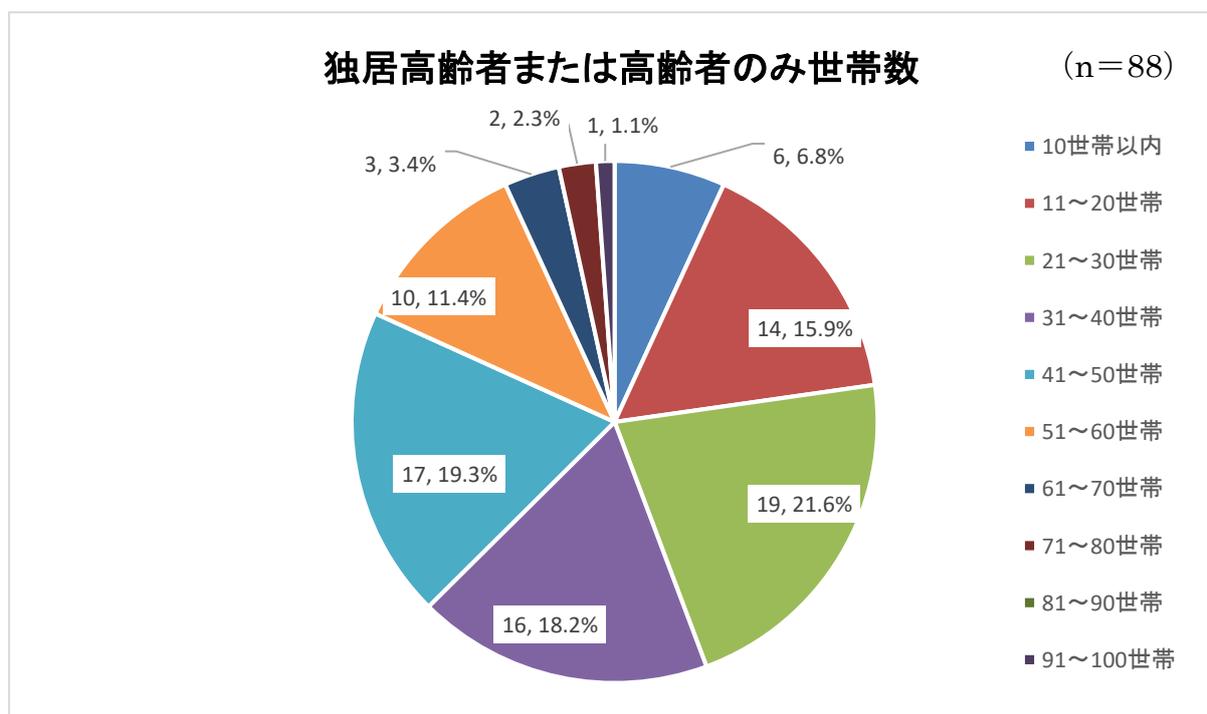


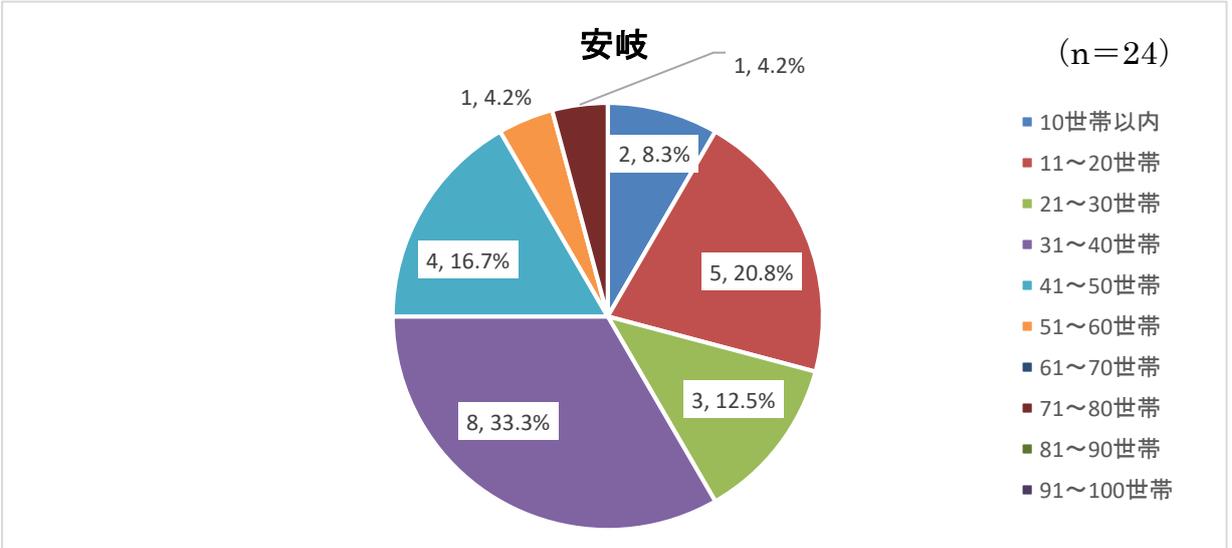
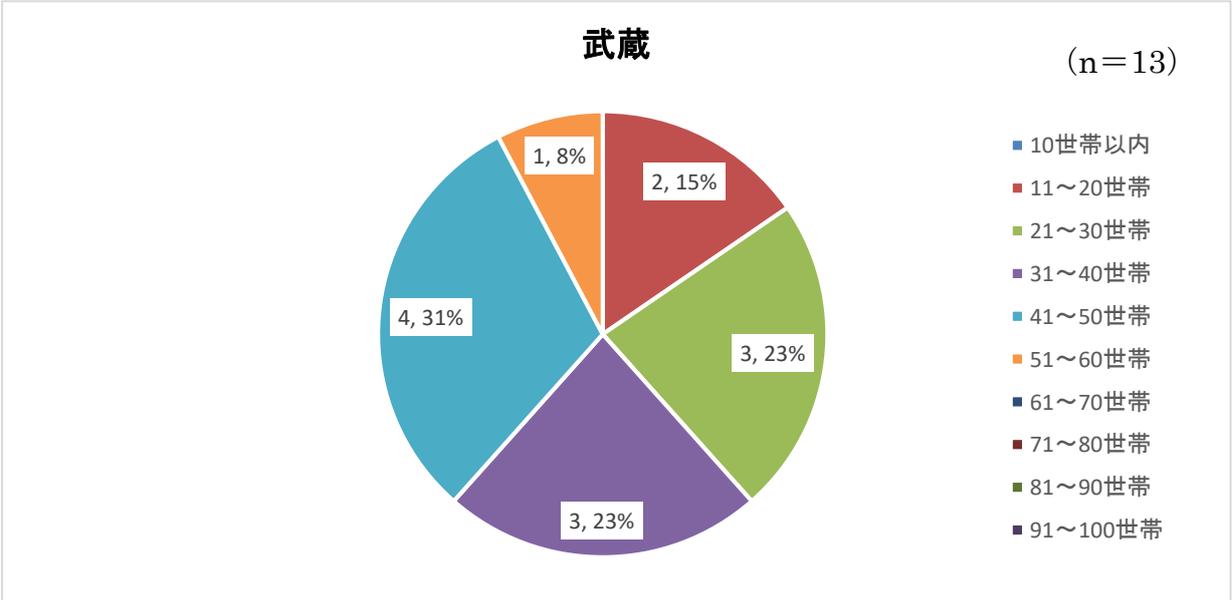
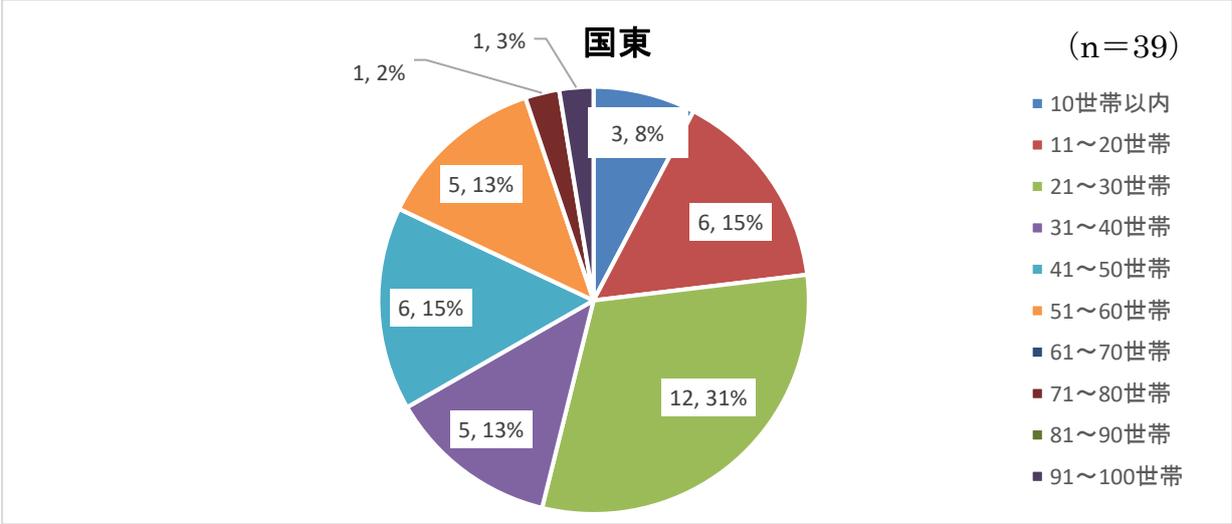
問3. あなたの担当地区に独居または高齢者のみ世帯がどれくらいあるか教えてください。

担当地区での独居高齢者または高齢者のみ世帯数は、「21～30世帯」が21.6%と最も多く、次いで「41～50世帯」が19.3%、「31～40世帯」が18.2%となっている。

地区ごとでみると、国見地区は「41～50世帯」・「51～60世帯」・「61～70世帯」がそれぞれ25.0%と多く、国東地区では「21～30世帯」が31.0%、武蔵地区では「41～50世帯」が31.0%、安岐地区では「31～40世帯」が33.3%を占めている。

このことから、国見地区は独居高齢者または高齢者のみ世帯が多く居住していることがわかる。

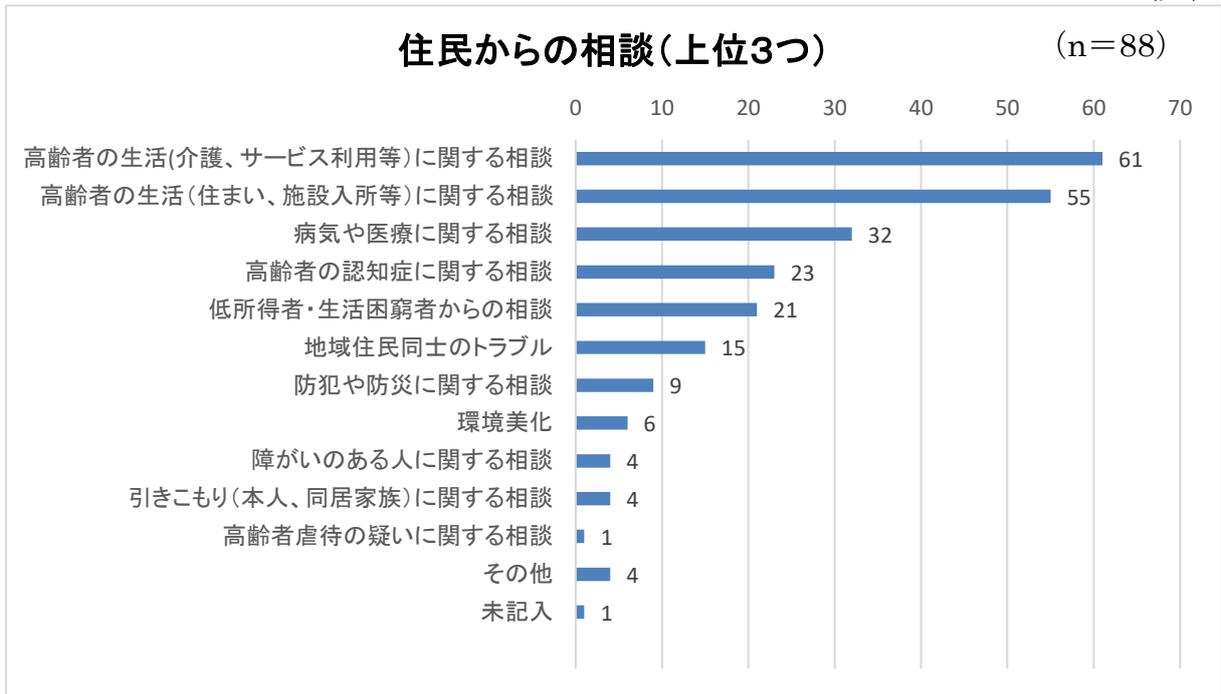




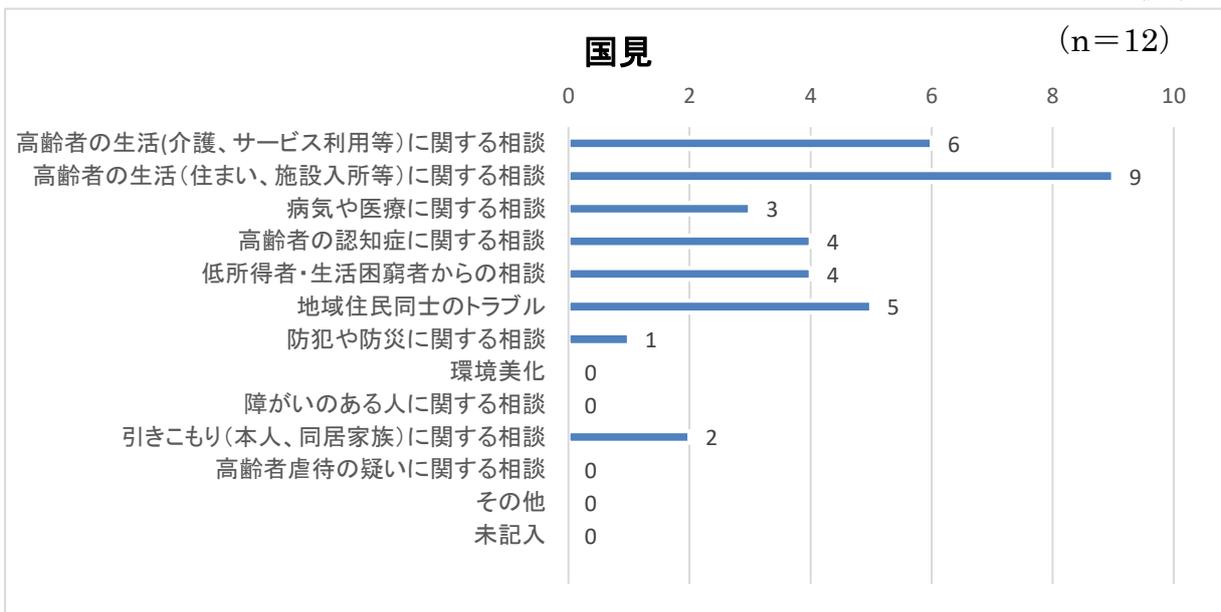
問4. 住民からの相談で、特に多かったもの上位3つに○をつけてください。

民生委員が担当地区で受けた相談は、「高齢者の生活（介護、サービス利用等）に関する相談」が最も多く、次いで「高齢者の生活（住まい、施設入所等）に関する相談」「病気や医療に関する相談」「高齢者の認知症に関する相談」「低所得者・生活困窮者からの相談」の順となっている。地区ごとでも、若干順位は違うが、これらの項目が相談の上位を占めている。

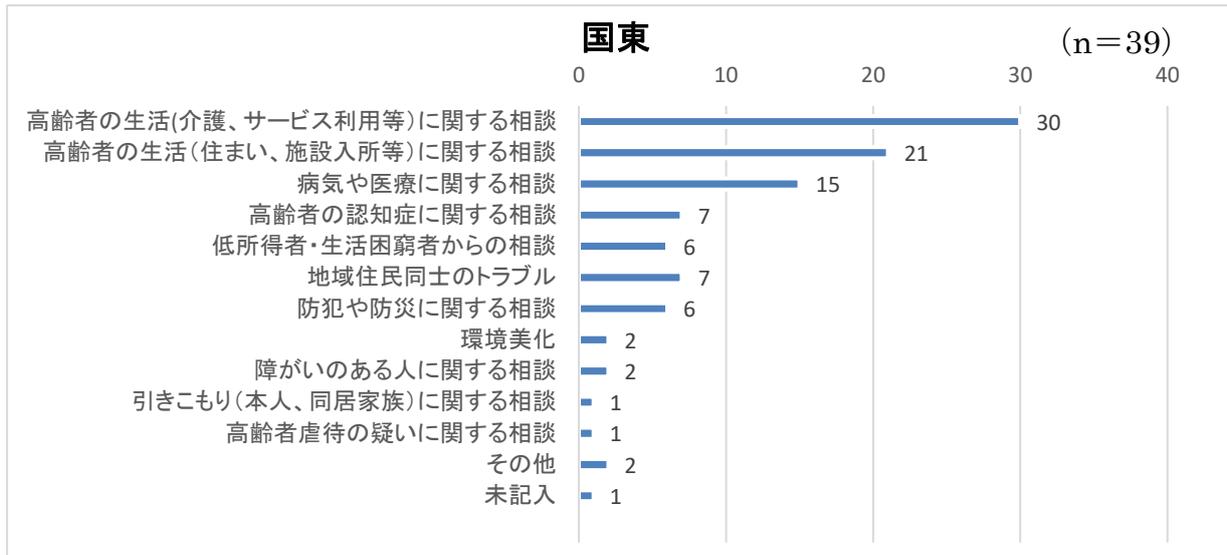
(人)



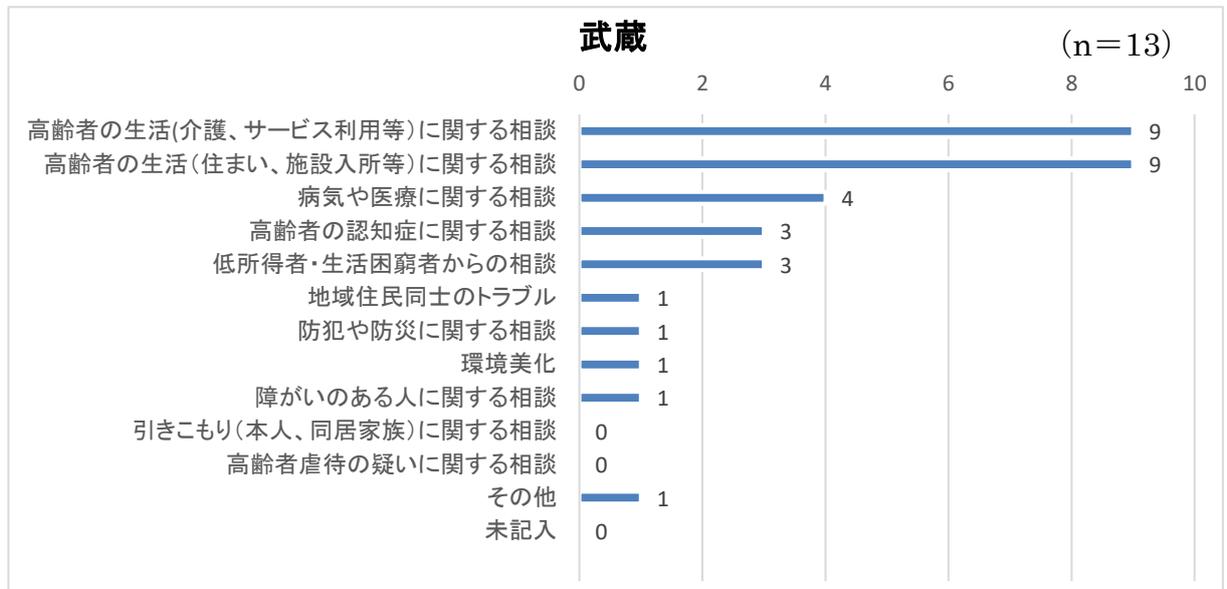
(人)



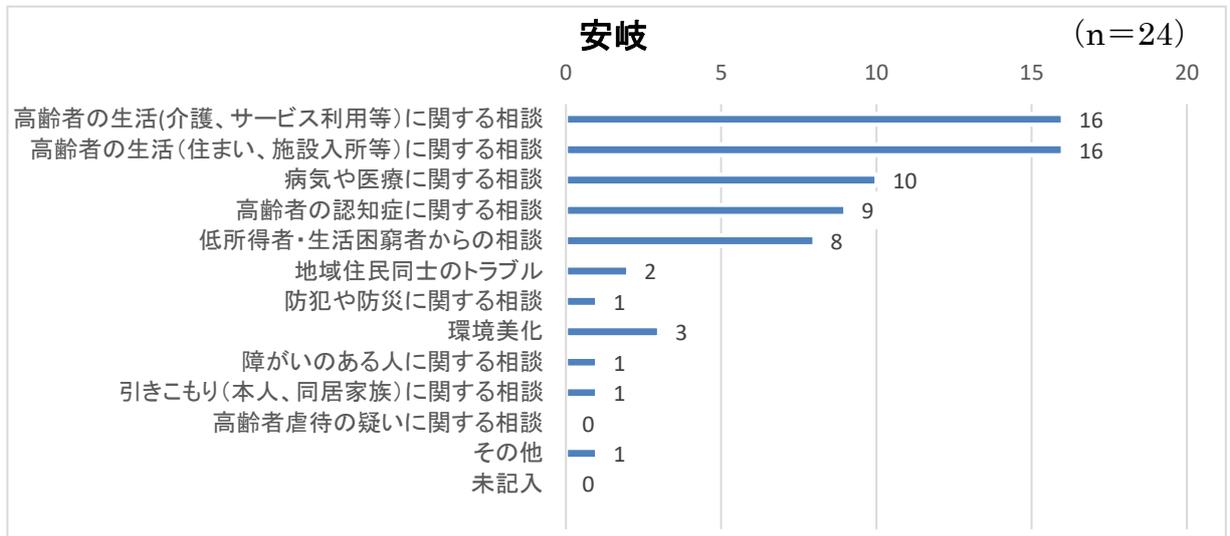
(人)



(人)



(人)

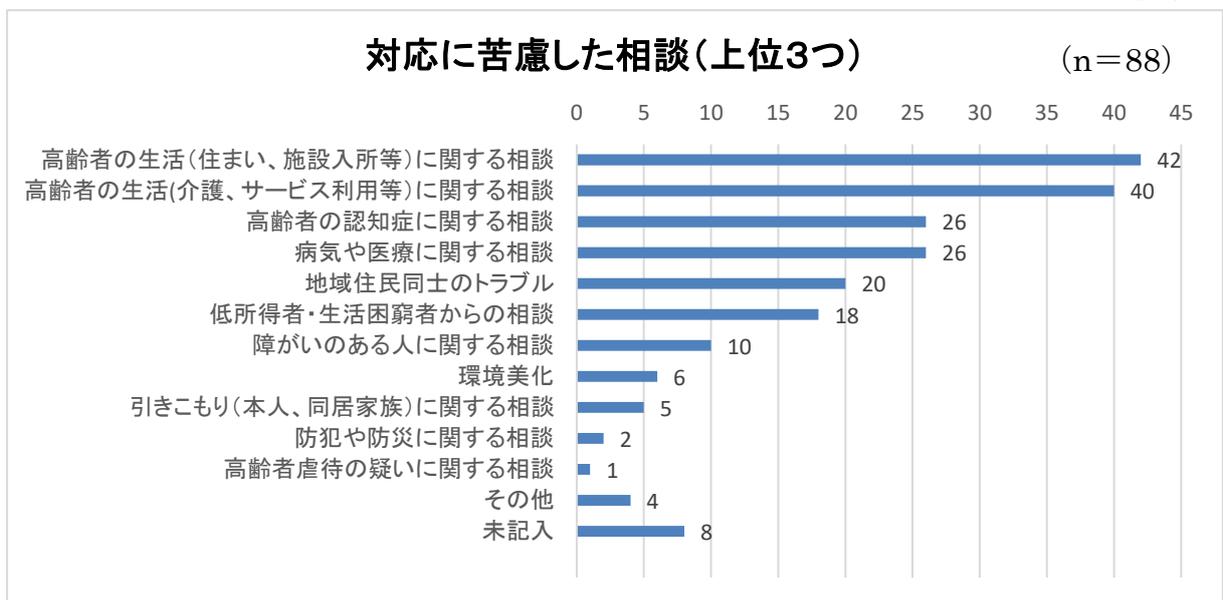


問5. 住民からの相談で、特に対応に苦慮したものの上位3つに○をつけてください。

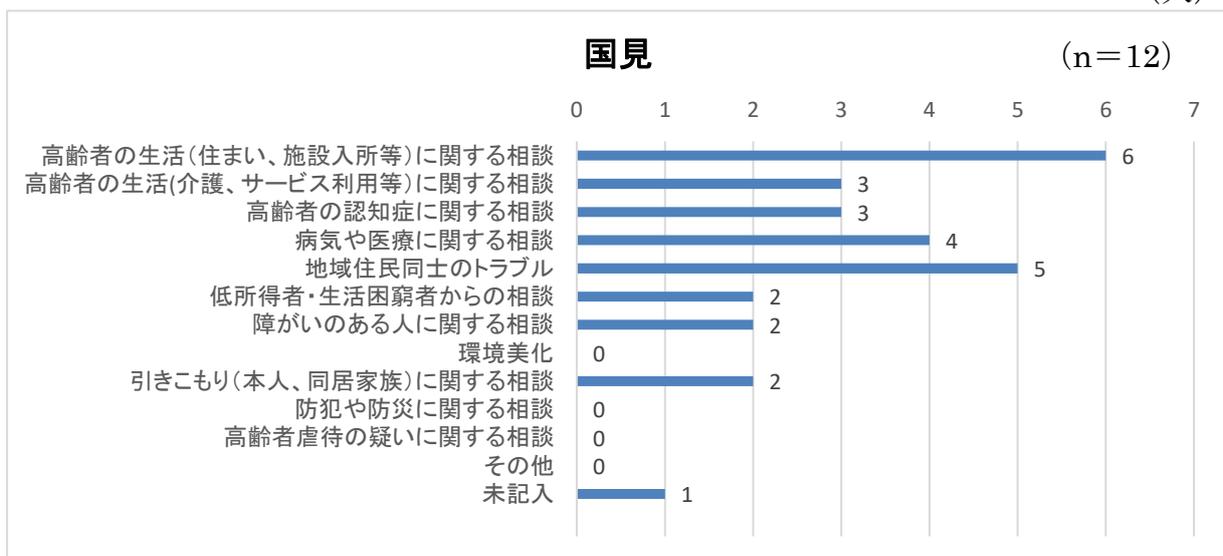
住民からの相談で、特に対応に苦慮したものとして、「高齢者の生活（住まい、施設入所等）に関する相談」が最も多く、次いで「高齢者の生活（介護、サービス利用等）に関する相談」「高齢者の認知症に関する相談」「病気や医療に関する相談」「地域住民同士のトラブル」の順となっている。

地区ごとでみると、国見、武蔵は「高齢者の生活（住まい、施設入所等）に関する相談」、国東、安岐は「高齢者の生活（介護、サービス利用等）に関する相談」が最も多くなっている。

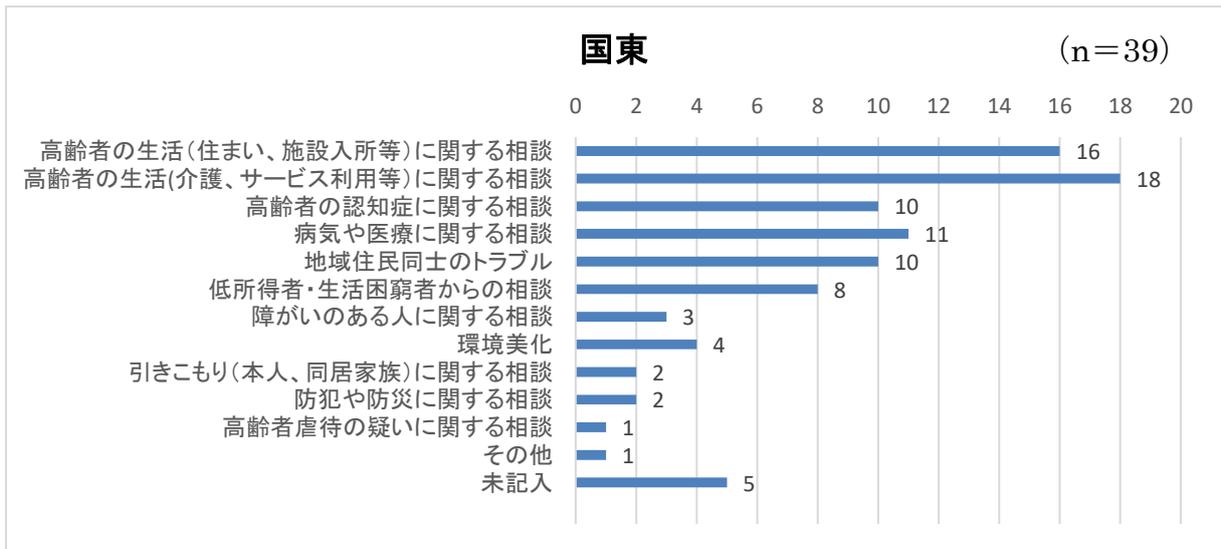
(人)



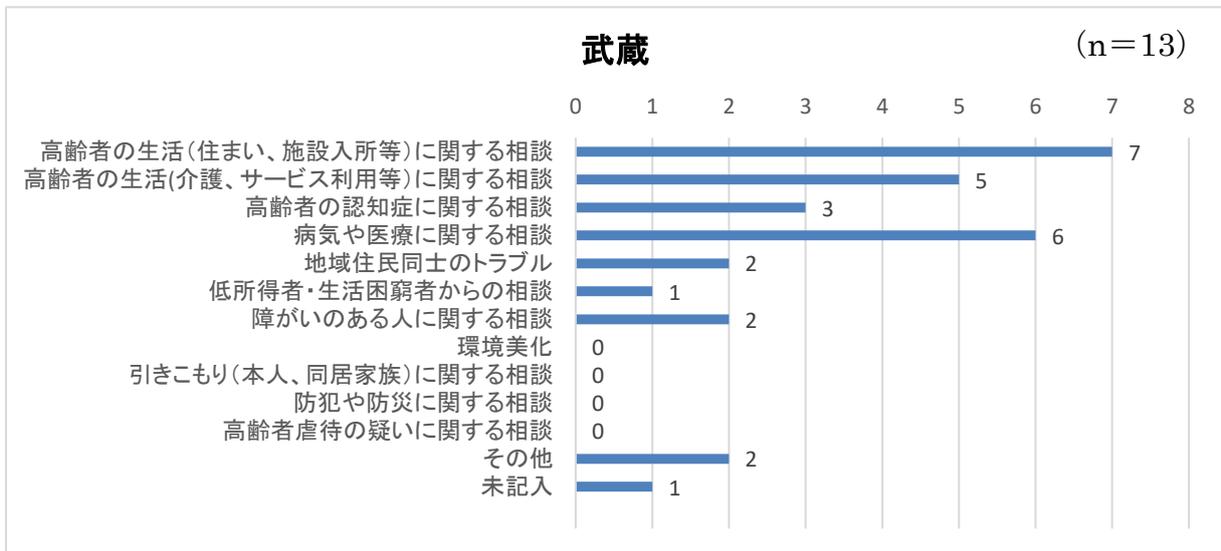
(人)



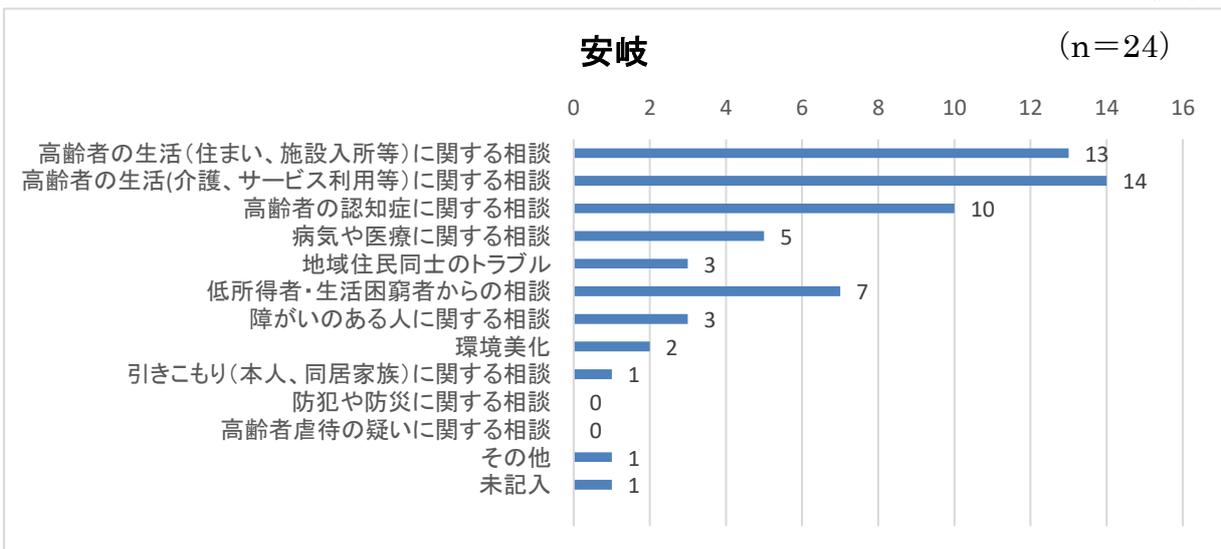
(人)



(人)



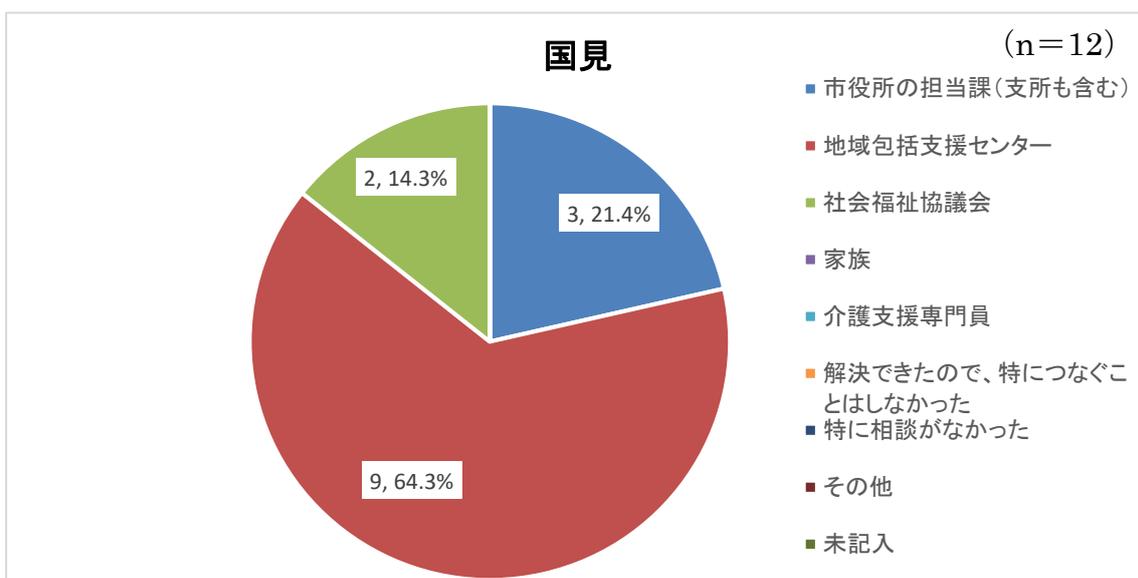
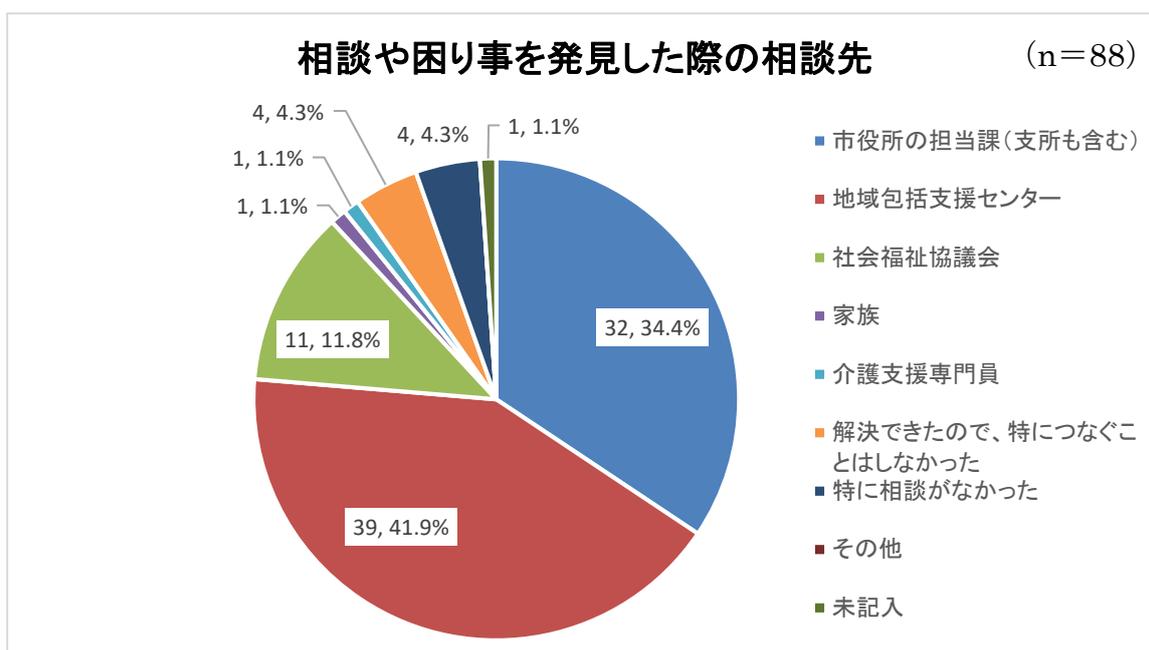
(人)

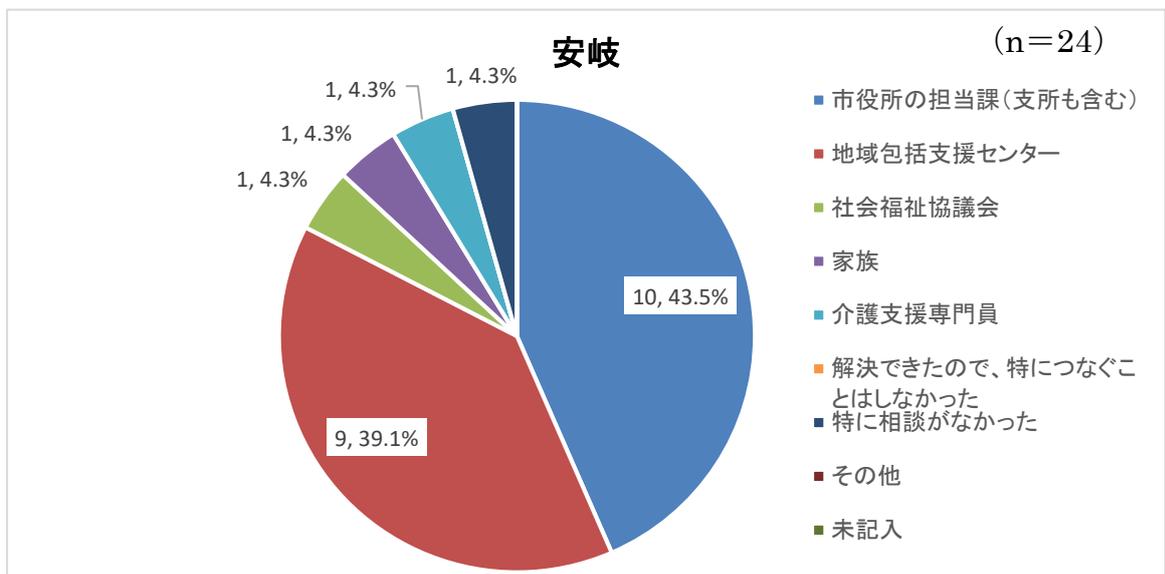
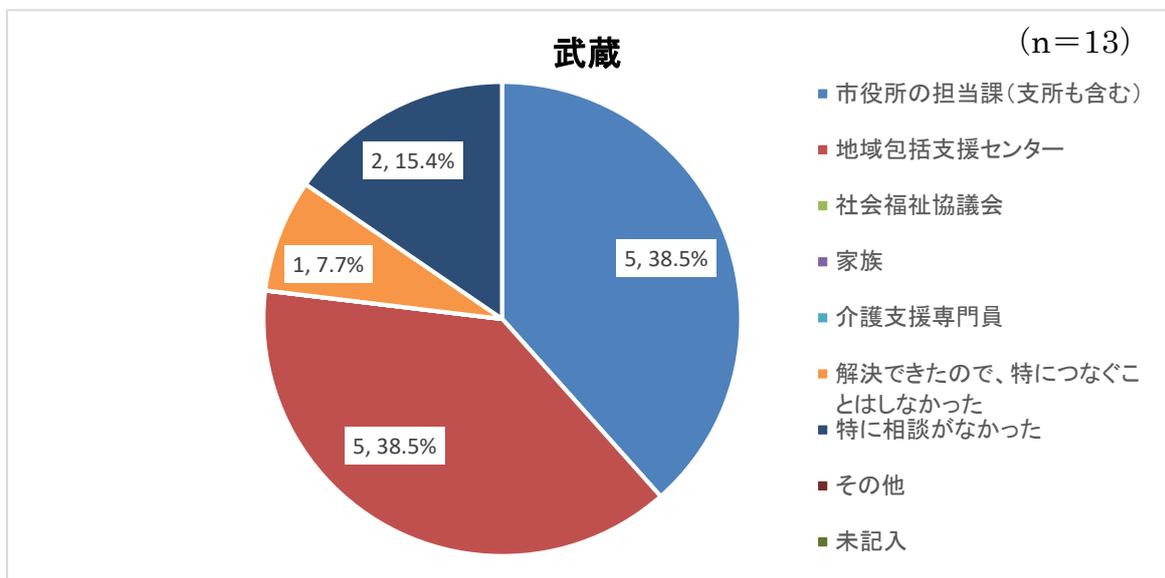
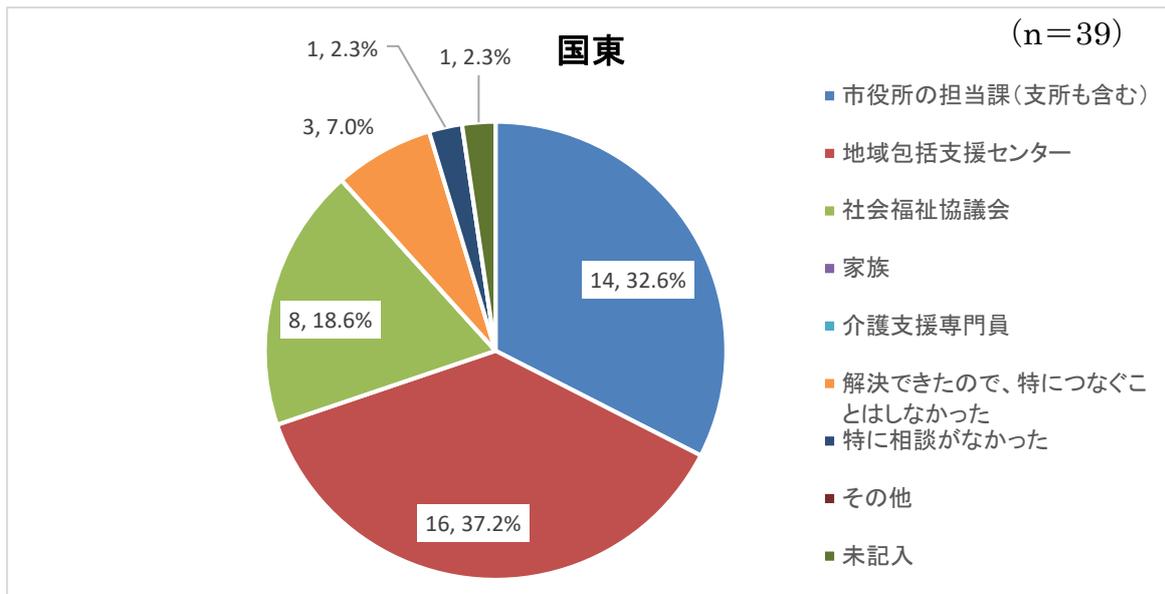


問6. 住民から受けた相談や困りごとを発見した際、解決にあたり最も相談したところはどこですか。(1つのみ)

住民から受けた相談や困りごとを発見した際、解決にあたり最も相談したところとしては、「地域包括支援センター」が最も多く41.9%、次いで「市役所の担当課(支所を含む)」が34.4%、次に「社会福祉協議会」の11.8%となっている。

地区ごとでみると、安岐地区では「市役所の担当課」が43.5%と最も多く、その他の地区では、「地域包括支援センター」が国見地区64.3%、国東地区37.2%、武蔵地区38.5%と最も多くなっている。

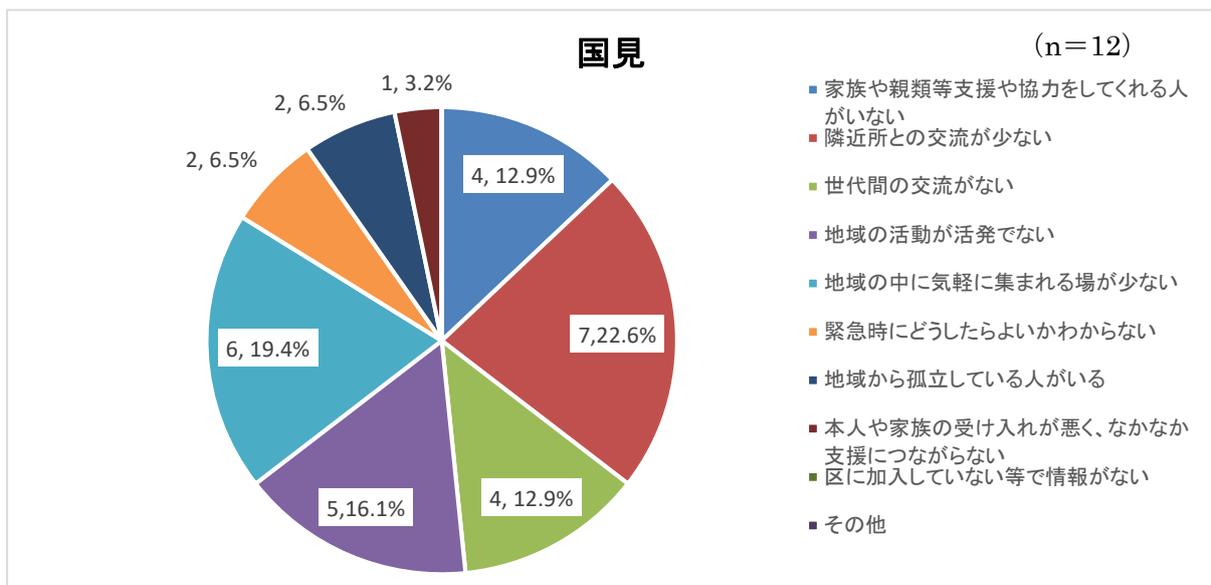
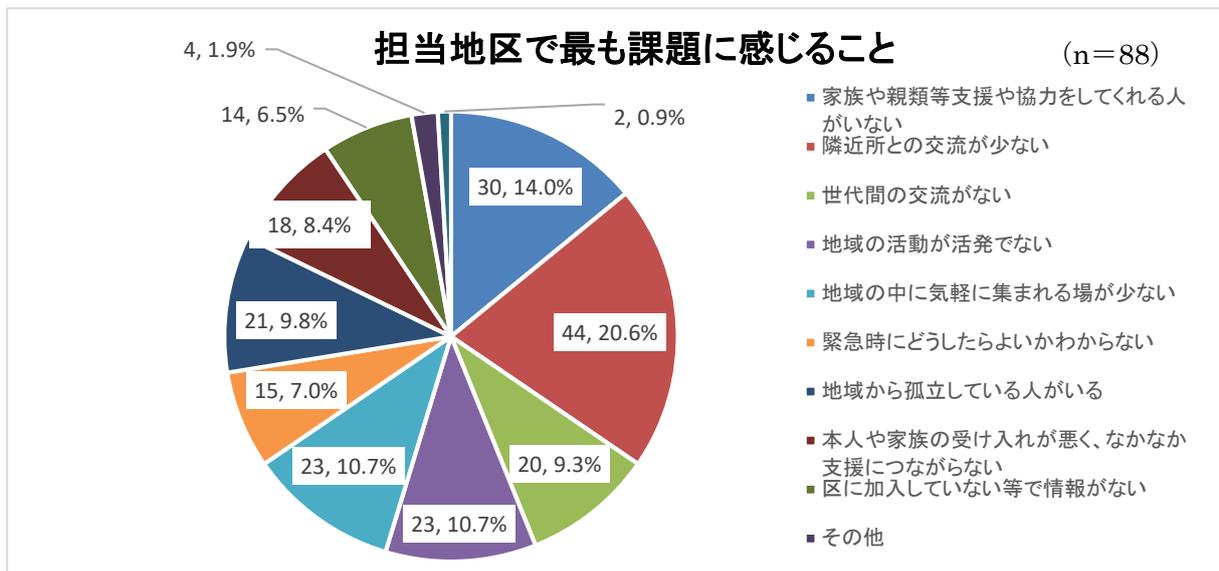


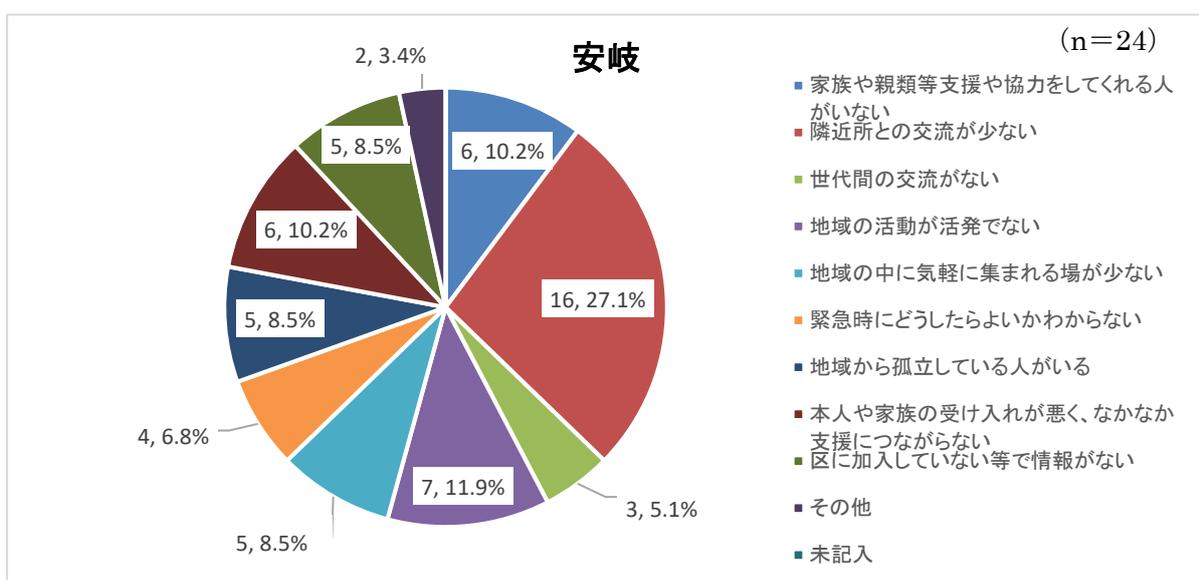
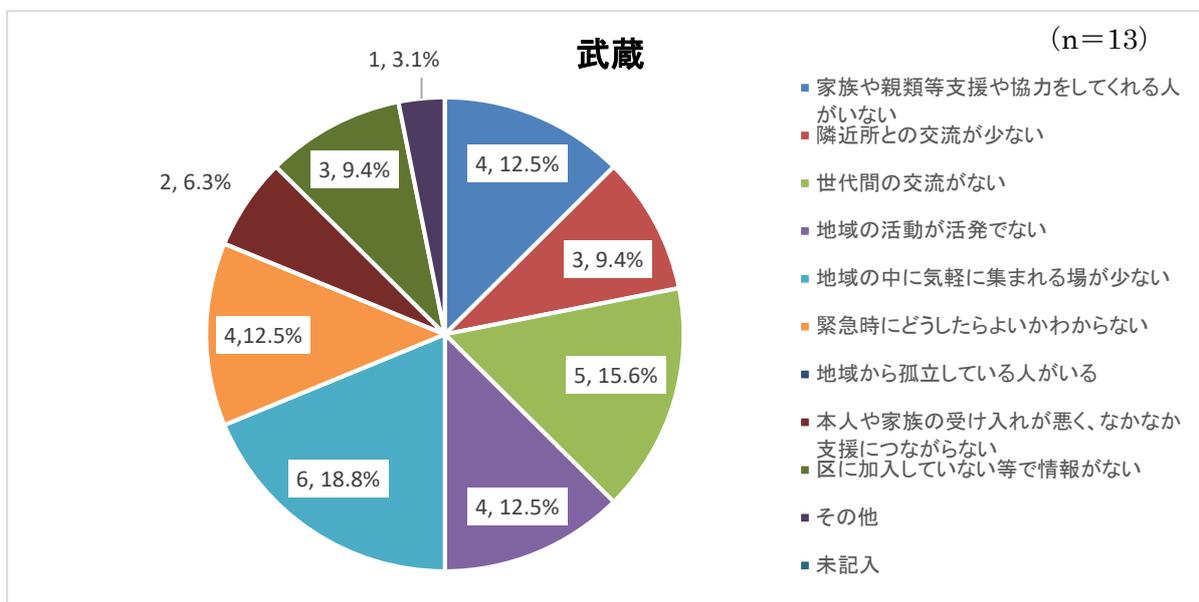
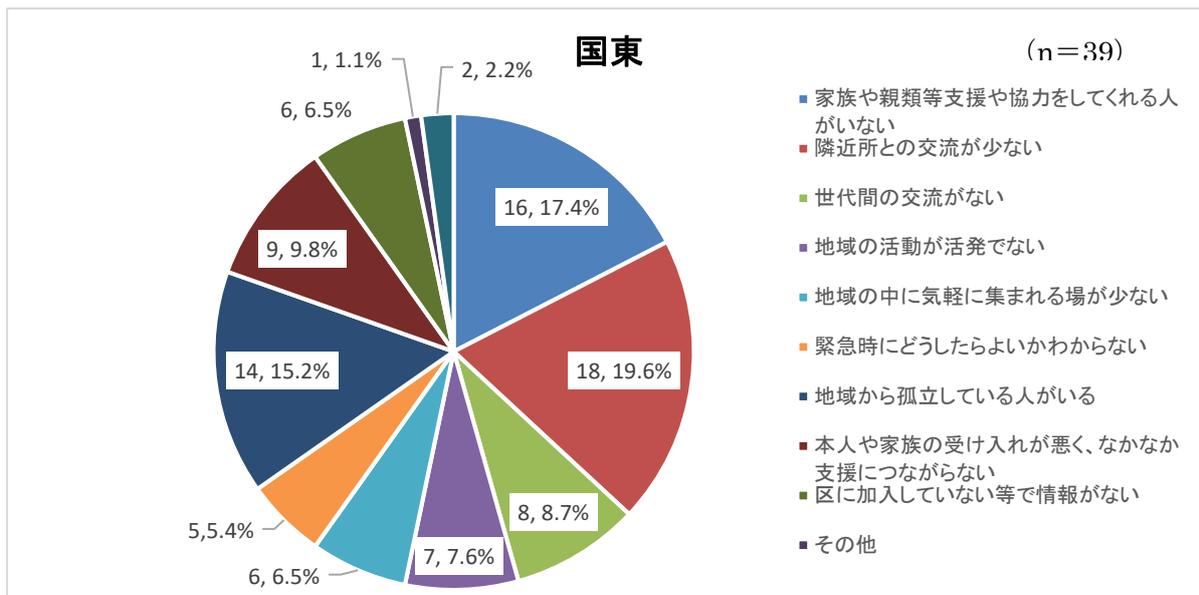


問7. 現在、担当している地区の中で、課題に感じること上位3つに○をつけてください。

担当している地区の中で、最も課題と感ずることとしては、「隣近所との交流がない」が20.6%と最も多く、次いで「家族や親類等支援や協力をしてくれる人がいない」が14.0%、「地域の活動が活発でない」「地域の中に気軽に集まれる場が少ない」が10.7%の順となっている。

地区ごとでもみると、「隣近所との交流が少ない」が国見地区22.6%、国東地区19.6%、安岐地区27.1%と最も多く、武蔵地区では「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が18.8%と最も多くなっている。

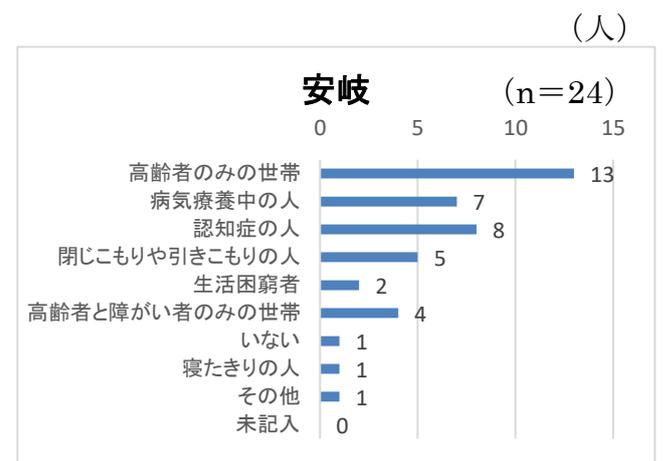
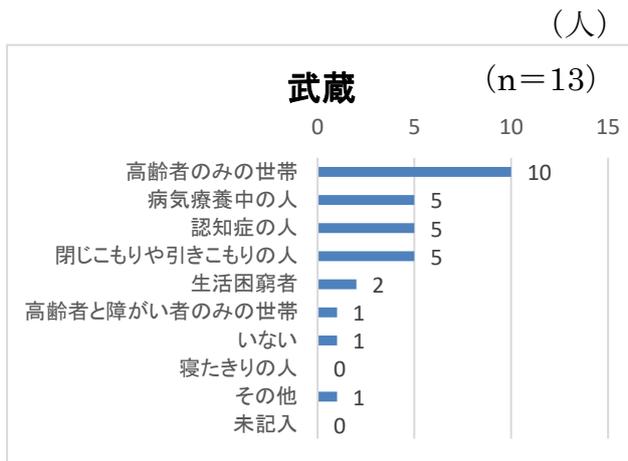
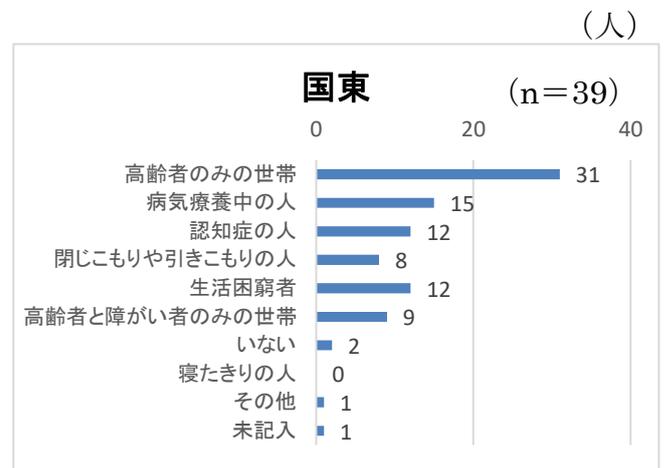
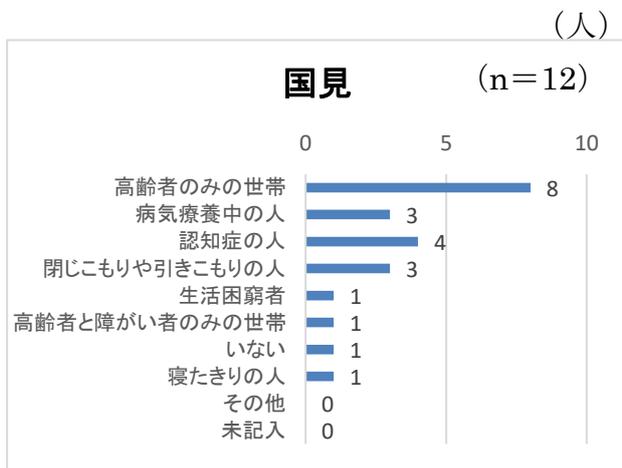
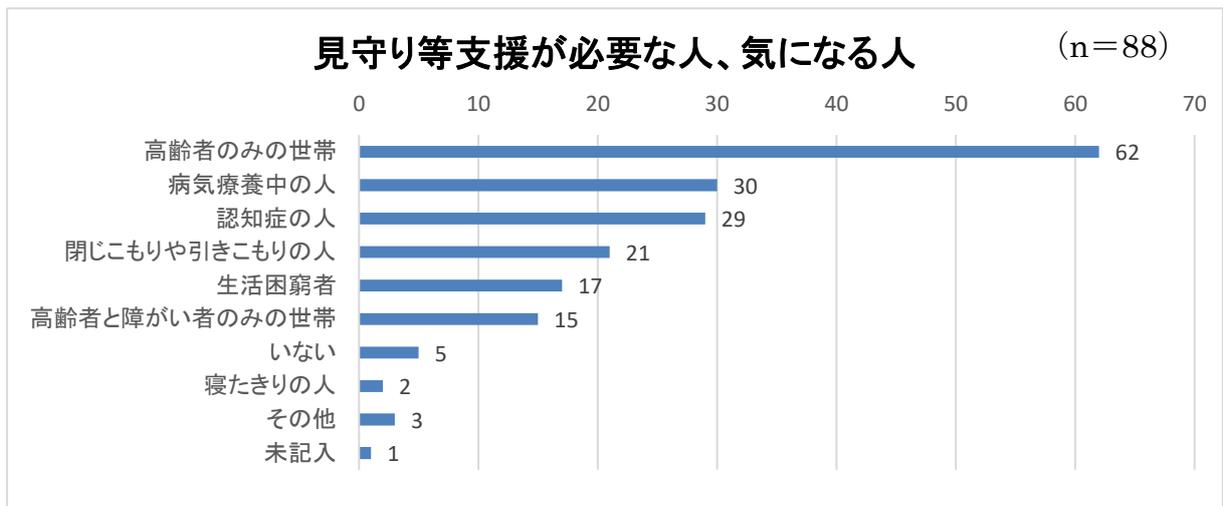




問8. 現在、担当されている地区の中で、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか。（複数回答）

担当している地区で、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人としては、「高齢者のみの世帯」が最も多く、次いで「病気療養中の人」、「認知症の人」「閉じこもりや引きこもりの人」の順となっている。

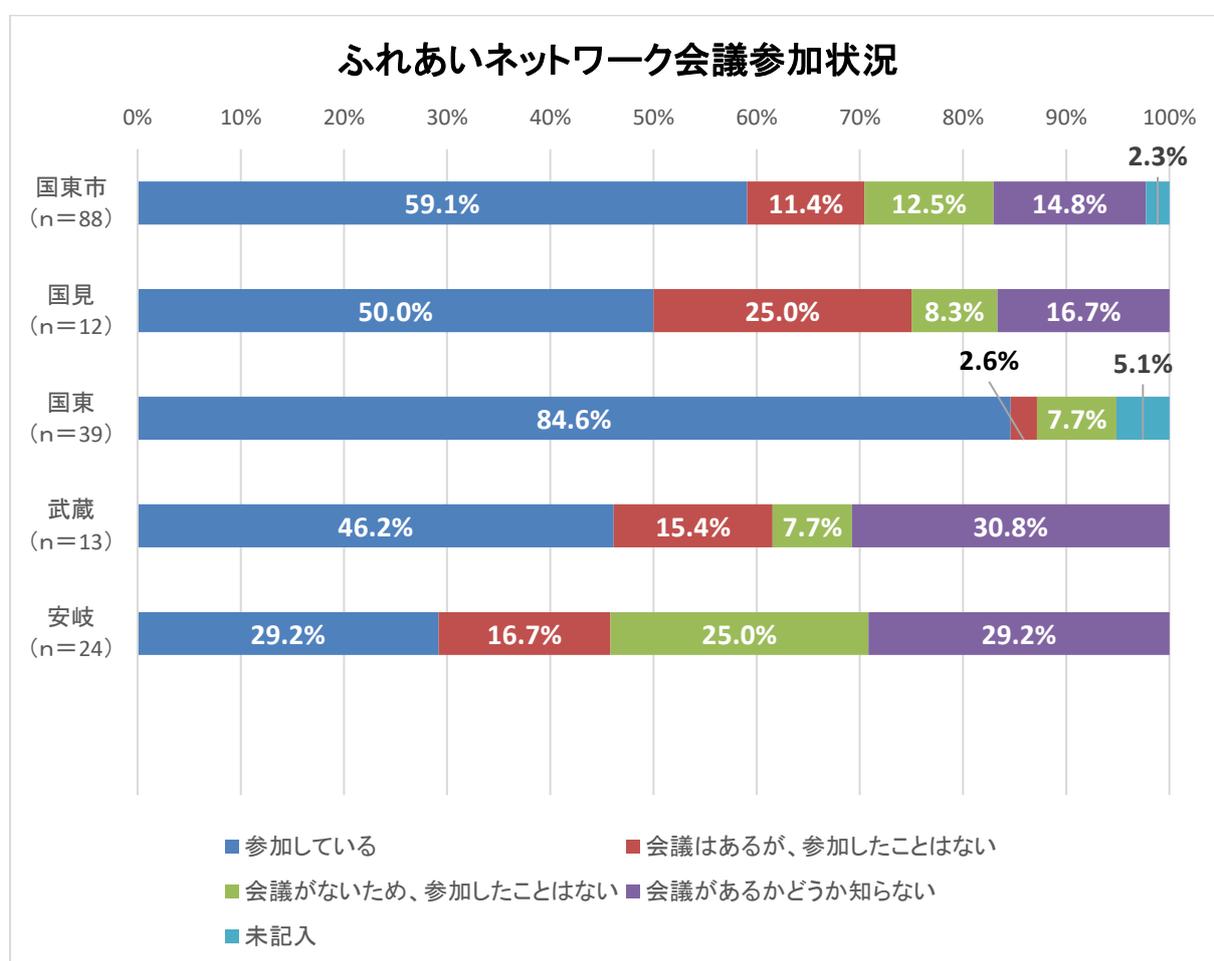
地区ごとにみても、順位の違いはあるが同様の項目が上位を占めているが、国東地域では「生活困窮者」が「閉じこもりや引きこもりの人」より多い。（人）



問9. 問8に該当する人を地域で見守る体制として、「ふれあいネットワーク会議」がありますが、「ふれあいネットワーク会議」に参加したことがありますか。(1つのみ)

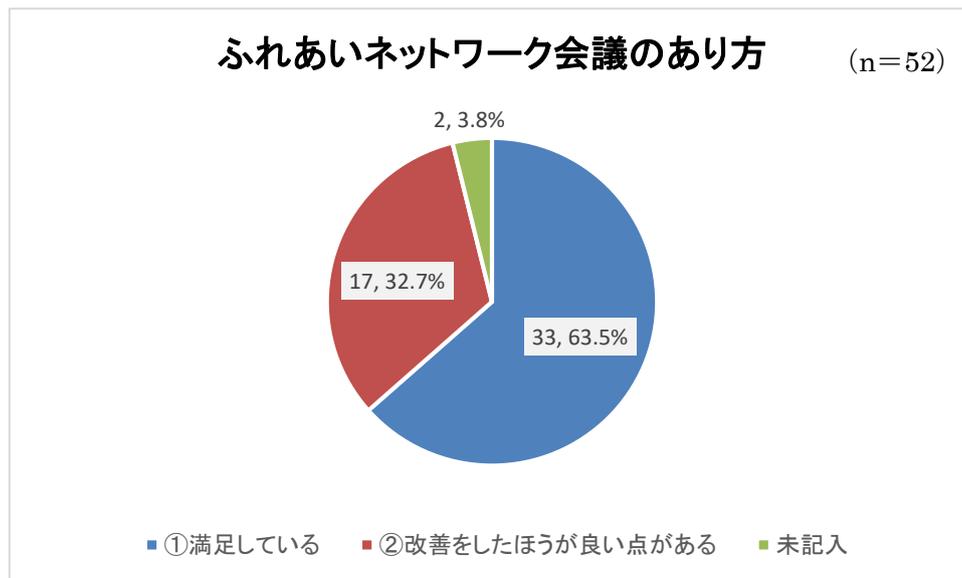
ふれあいネットワーク会議への参加については、「参加している」が最も多く59.1%、次いで「会議があるかどうか知らない」が14.8%、「会議がないため、参加したことがない」が12.5%、「会議はあるが、参加したことはない」が11.4%となっている。

地区ごとでみると、「参加している」が国見地区では50.0%、国東地区では84.6%、武蔵地区は46.2%、安岐地区は29.2%となっており、地域差が出ている。



問 10. 問 9 で、「1 参加したことがある」と答えた方に伺います。
今の「ふれあいネットワーク会議」のあり方に満足していますか。(1 つのみ)

参加したことがあると回答した人のうち、今の「ふれあいネットワーク会議のあり方に満足している」と回答した人は、63.5%、「改善した方がよい点がある」と回答した人は 32.7%となっている。



【改善したほうがよい点があると回答した人からの意見】

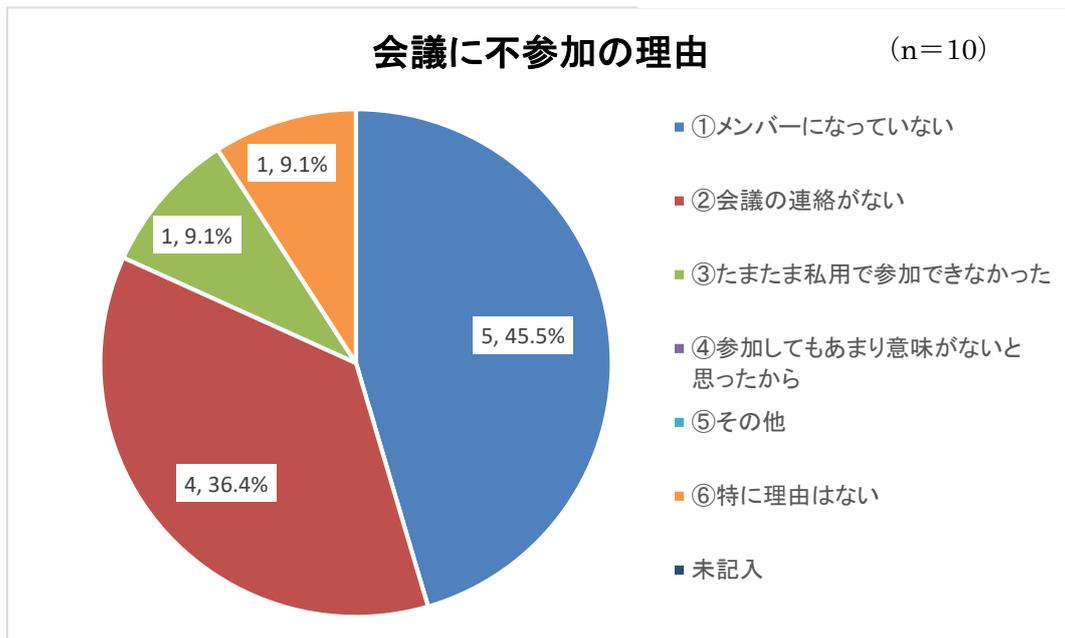
- ・ 区長が義務としてやっているだけ
- ・ 回数が少ない
- ・ 形式的でなく具体的な話がしたいが出しにくい
- ・ 孤立している家庭や緊急時の対応に手助けを要する人への支援体制が作りづらい
- ・ 区三役、班長、民生委員、区民のそれぞれの役割、どこまで誰がどうしてよいのかよくわからない
- ・ 情報交換だけでなく、見守りの必要な方へのネットワークの構築が必要である
- ・ 区として具体的支援や取り組みがみえない
- ・ 役割分担がよくわからない、しっかりしていない
- ・ 日常生活の支援体制があり地域が助かっていることを聞き、参考にできることがあれば知りたい
- ・ 区長が会を進行するが今の区長は大雑把でもう少し詳細に皆と情報を共有出来たらと思う
- ・ 近年はコロナの為か会議をしていない
- ・ 独居者の状況報告の場があるが個人情報で話しにくい点が多い

- ・コロナで会議が1回開催されたがどこまで個人情報提供すべきか苦慮した
- ・区まかせのネットワーク会議なのであまり意味がない。構成メンバーも毎年変わるので万一のときには機能しないと思う
- ・意見記入なし (3)

問 11. 問 9 で、「2 会議はあるが、参加したことはない」と答えた方に伺います。
不参加の理由を教えてください。(1 つのみ)

ふれあいネットワーク会議に参加したことがない人の不参加の理由としては「メンバーになっていない」が 45.5%と最も多く、次いで「会議の連絡がない」が 36.4%、「たまたま私用で参加できなかった」「特に理由はない」がそれぞれ 9.1%となっている。「メンバーになっていない」「会議の連絡がない」を合わせると 81.9%を占めており、不参加者の 8 割は「ふれあいネットワーク会議」がいつ開催されているか知らない状況にある。

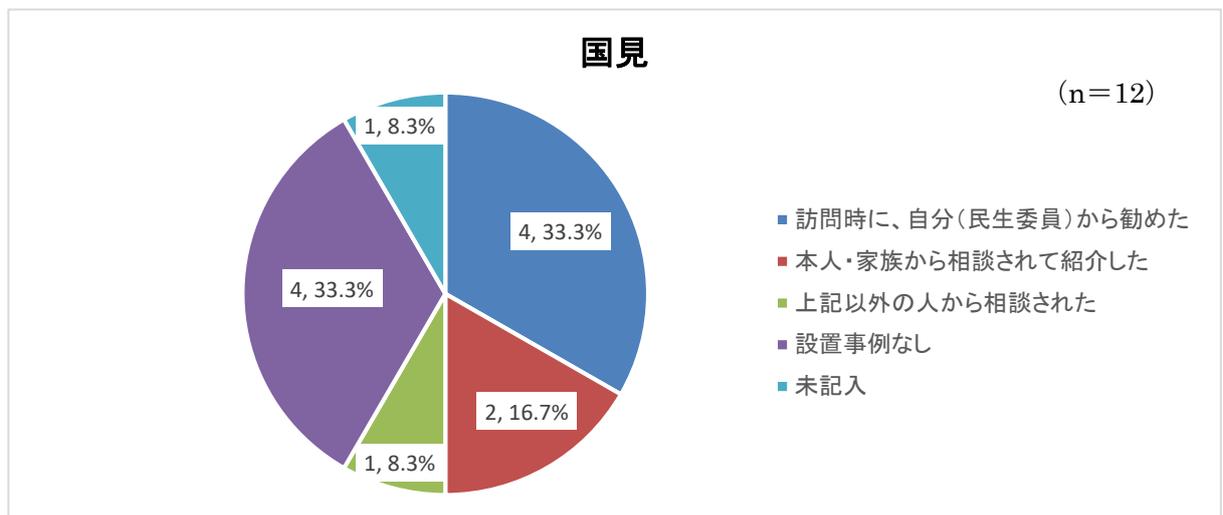
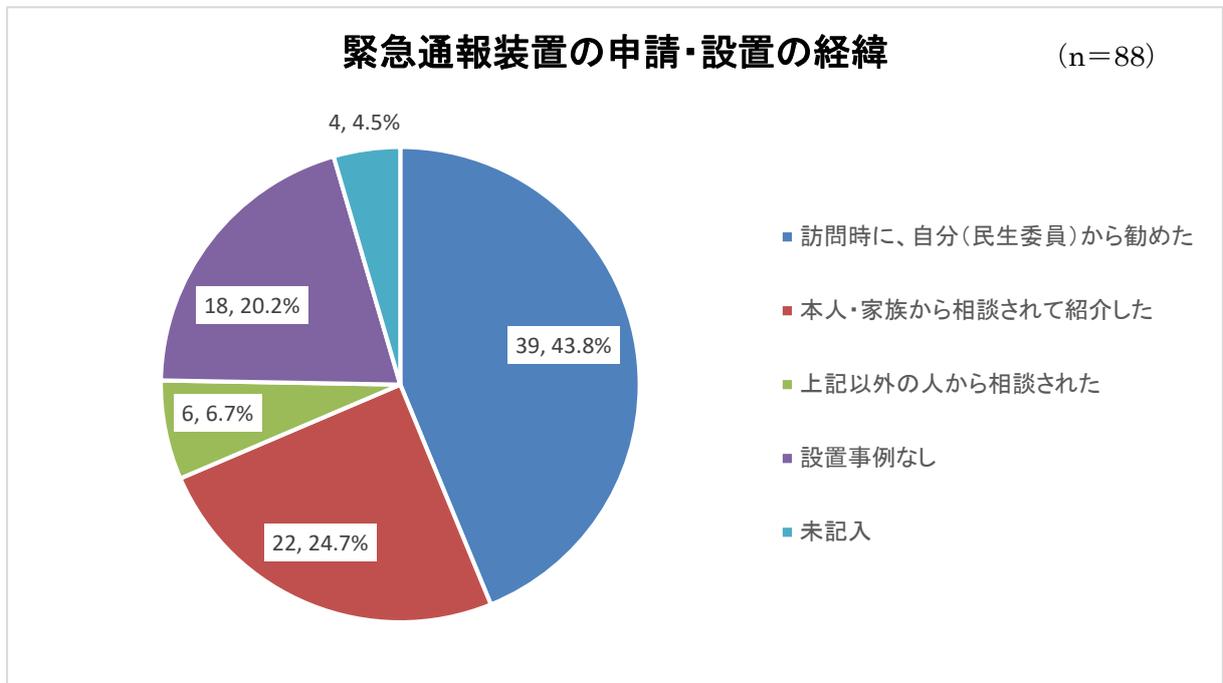
※複数回答した方あり

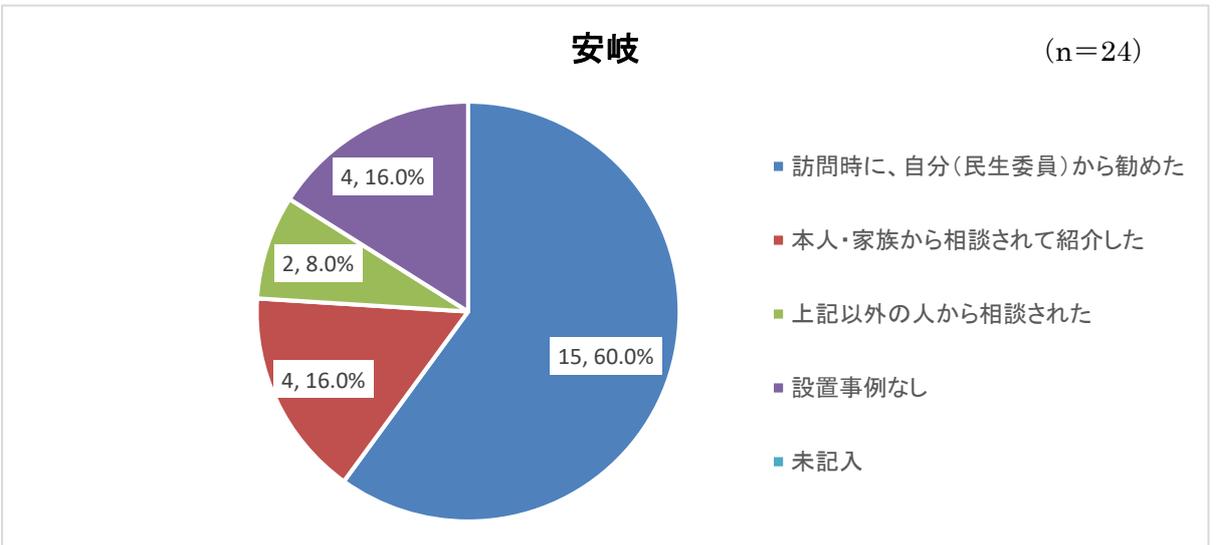
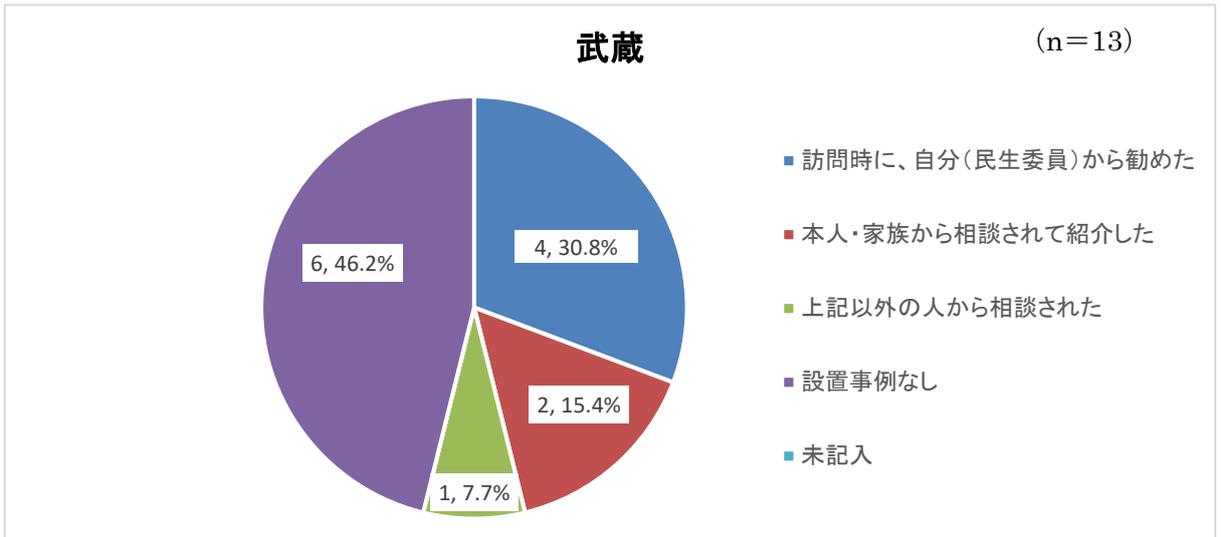
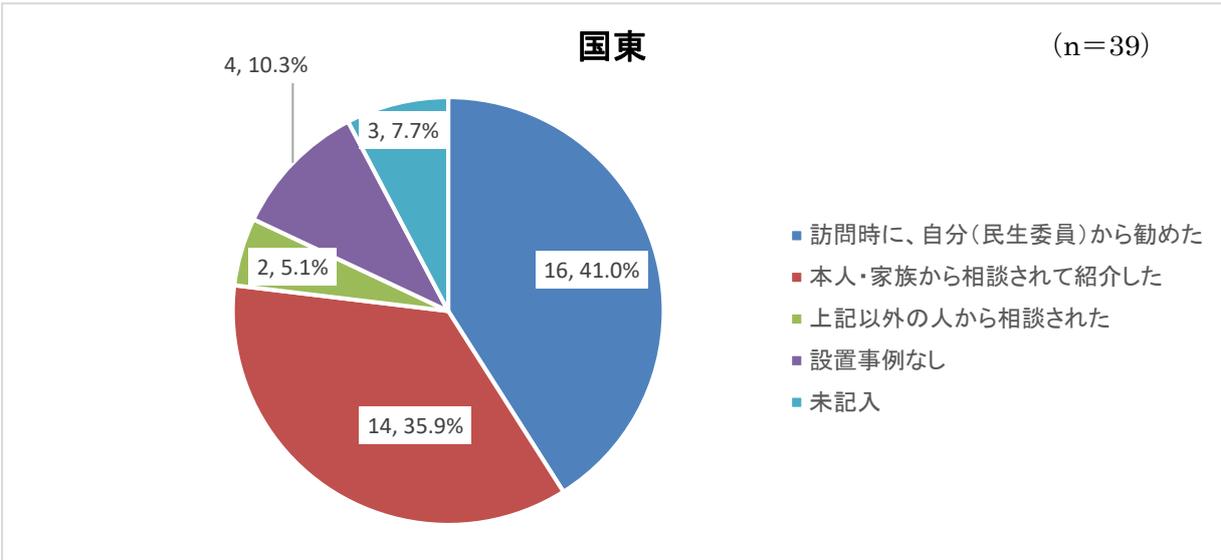


問 12. 一人暮らしや高齢者のみ世帯等の方が、急病などの緊急時に 24 時間対応できる緊急通報システム（サスケ）がありますが、緊急通報装置の申請設置の経緯についてお伺いします。

緊急通報装置の申請・設置の経緯については、「訪問時に、自分（民生委員）から勧めた」が 43.8%と最も多く、次いで「本人・家族から相談されて紹介した」が 24.7%、「設置事例なし」が 20.2%の順となっている。

地区ごとにみると、国見は「訪問時に、自分（民生委員）から勧めた」「設置事例なし」が共に 33.3%、国東地区は「訪問時に、自分（民生委員）から勧めた」が 41.0%、武蔵地区は「設置事例なし」が 46.2%、安岐地区は「訪問時に、自分（民生委員）から勧めた」が 60.0%と最も多くなっている。





問 13. 問 12 で 1 から 3 に○を付けた（設置にかかわった）方にお伺いします。
申請・設置の際に気になったこと、困ったことがあればご記入ください

【記入されていた意見】

- ・サスケのコンセントを抜いていたこと
- ・申請から設置まで期間がかかりすぎ、対応早くすべき (2)
- ・関係者の対応も良かった
- ・申請時に近所に緊急時対応できる協力員 (3 人) 依頼が難しい(いない) (9)
- ・緊急連絡先に民生委員を希望される方が多いが、対応数が多く引き受けできないことがある
- ・希望しても設置されない場合があった
- ・取付工事の立ち合いが大変
- ・設置を勧めたいが認知が疑われるため申請を勧めない人が数名いた
- ・設置した後、器具の様子がわからず翌日様子を見に行った
- ・市役所の担当者に立ち会ってもらえると助かるのに、立ち会ってもらえなかった
- ・設置当初から立ち合うが住宅等の場合は居場所もない状態で設置完了後の立ち合いでもよいのではと思う
- ・相談はあったが、コロナで本人が断った
- ・設置して喜んでいる人が多い
- ・携帯電話では設置できないので、今後検討必要と思う (2)
- ・反省として設置前に電話周囲の片づけをしておくべきだった
- ・NTT 回線はあるとのことで確認しなかったが、よく確認すべきだった
- ・連絡先になってもらう 2 名の方に任期がないことに対する理解度、また子供たちが設置について理解しているかどうか（連絡先になってくれている人に対して）
- ・取り付けに立ち会ったがサスケの人の説明も十分で特にない
- ・申請は毎月がよいのでは
- ・一人暮らしで難聴の方に緊急通報装置の設置を行う際、本人は言葉を発するのですが、こちらは筆談でしか伝えられなく十分な意思疎通が出来なく困った
- ・緊急時、消防、救急隊の進入口（ガラス等を割っての進入）を当事者に許可をもらうことに少しためらいを感じた
- ・認知機能低下の為書類の理解ができず、紛失していた

問 14. 緊急通報システム・養護老人ホームの申請について、意見書を書いたことのある方にお伺いします。意見書について気になったこと、困ったことがあればご記入ください。

【1 緊急通報システムについて】

- ・意見書の内容について「どこまで聞いて書けばよいの」あまり深く聞くと色々なことになるのでは？（共通意見）
- ・緊急の時に本当に利用できるのだろうかとの疑問に思うことはある
- ・緊急時の連絡先を引き受けてもらえる方が限られる
- ・家族や親類等が居ない人、または県外にいる人の場合、協力員を見つけることが難しい
- ・何かあれば民生委員へ連絡があるのでよい。あればすぐに駆け付けるので良いと思う
- ・民生委員意見記入は別の用紙にした方がよいのでは
- ・申請書類に少し手こずる
- ・設置条件となる疾患があることや個人情報を何度も聞けない
- ・勧めるけど本人が必要だと感じない人がいる
- ・家族や親類等連絡先を決めることで困ったことあり
- ・無口は高齢者から情報を聞き出すのに苦労がある
- ・記載例があるので書きやすい
- ・子ども達が理解できているか不安あり（返却必要等）
- ・ありのままを記入した
- ・本人は控え目に記入することが多いのでバックアップした
- ・必要であろう当事者のためで、民生委員として困ることは無い
- ・高齢夫婦と息子と同居しているが、ご主人が癌で治療中。奥様は足がゆっくりとしか歩けない。すぐに救急車を呼ぶ為に息子が仕事であればサスケのボタン1つ押すだけで助けを求められるシステムを利用したいと言われ申請したが役所の決り事にあてはまらないと連絡があった。一人暮らしだけではなく命を守る為の良いシステムはこれから全戸につけてもらっても良いと思う

【2 養護老人ホームについて】

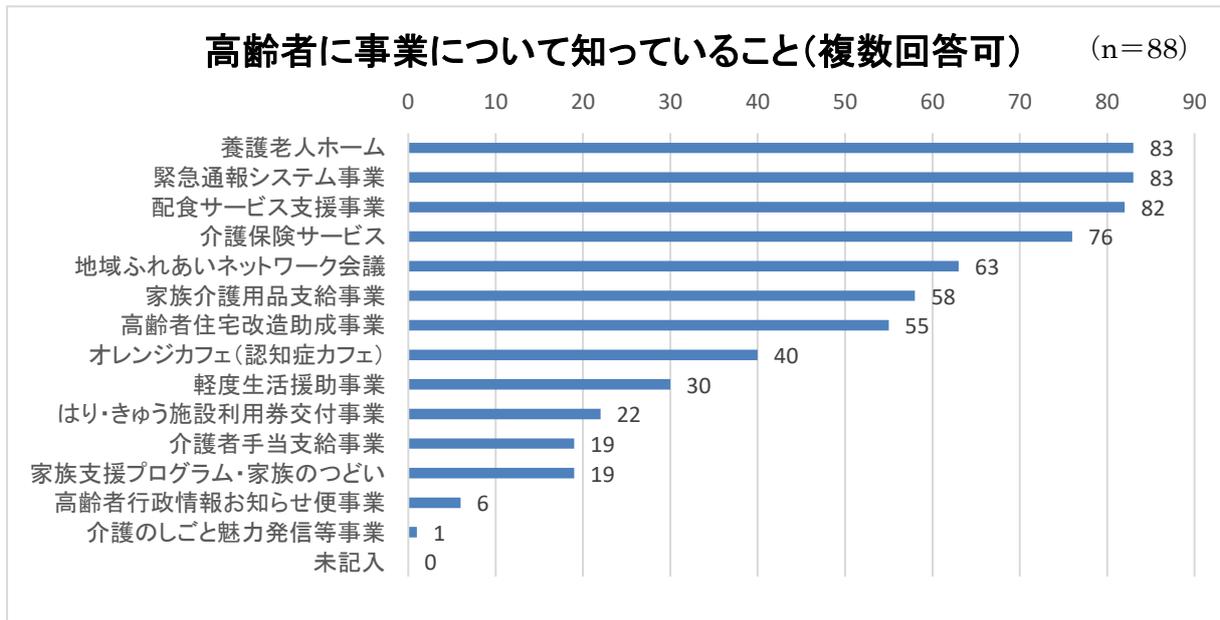
- ・本人の気持ちと家族の同意が必要
- ・意見書の内容について「どこまで聞いて書けばよいの」あまり深く聞くと色々なことになるのでは？（共通意見）
- ・どう書いてよいかわからず、生活で不自由している様子や、本人の気持ち、日頃の活動の中で感じたことを書いたが、文書にまとめるのが難しい（2）
- ・入所希望者の状況をすべて詳細に把握できている訳ではないので、状況としてどこまでの内容が必要なのか分からず時間を要した（3）
- ・意見書の記入を頼まれるが、その後入所できたかどうか連絡がないので困った。留守宅に何度も訪問した
- ・介護認定の見直しに伴い転所した者に対して自宅介護等に関する事で意見を求めるのはスジ違い。担当部署で行うべき。本人をよく知らないこともあるので記入に困る（2）
- ・ヘルパー等の福祉支援がもっとできればと思う
- ・日頃よりケアマネさんや本人とも情報交換出来ていれば問題なしと思う
- ・本人は家族と一緒に住んでいた。よって見守りはしていない（福祉台帳には記載なし）家族に本人のことをいろいろと聞かねばならずよかったのかなと反省している
- ・本人又は家族の方の申請で松寿園に2件申請したが、とても喜んでいて
- ・記載例があるので参考にしている
- ・生活状況の記入について、指標が不明なので難しかった

問 15. 高齢者の事業について知っていることすべてに○をつけてください。

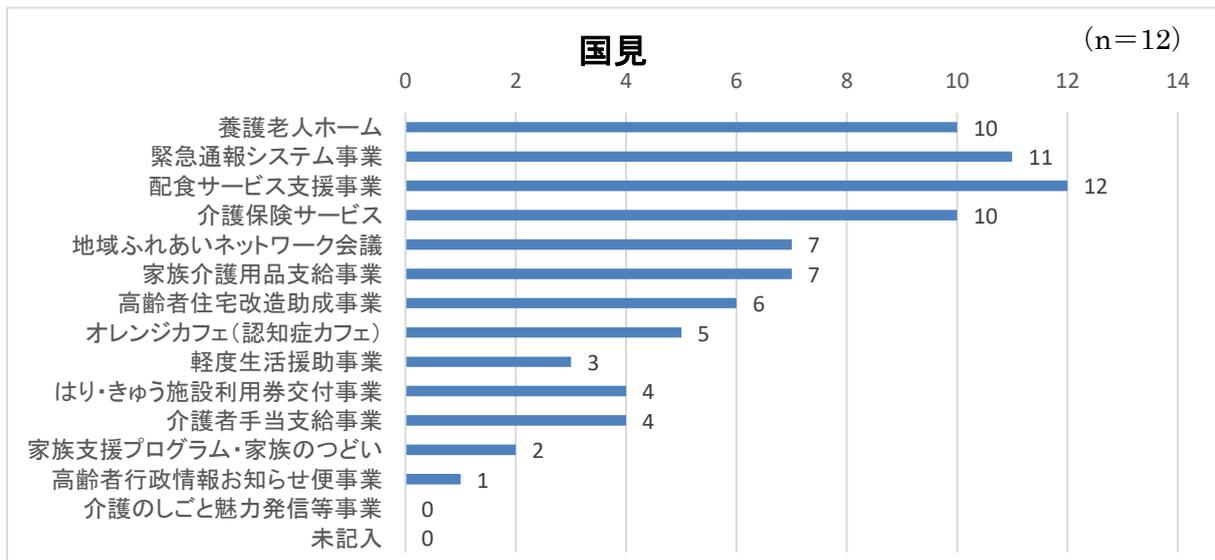
高齢者の事業について知っていることでは、「養護老人ホーム」「緊急通報システム事業」が最も多く、次いで「配食サービス支援事業」「介護保険サービス」「地域ふれあいネットワーク会議」の順となっている。

地区ごとでみると、国見地区では「配食サービス支援事業」、国東地区では「配食サービス支援事業」「養護老人ホーム」「緊急通報システム事業」が共に、武蔵地区では「養護老人ホーム」、安岐では「養護老人ホーム」「緊急通報システム事業」が共に最も多くなっている。

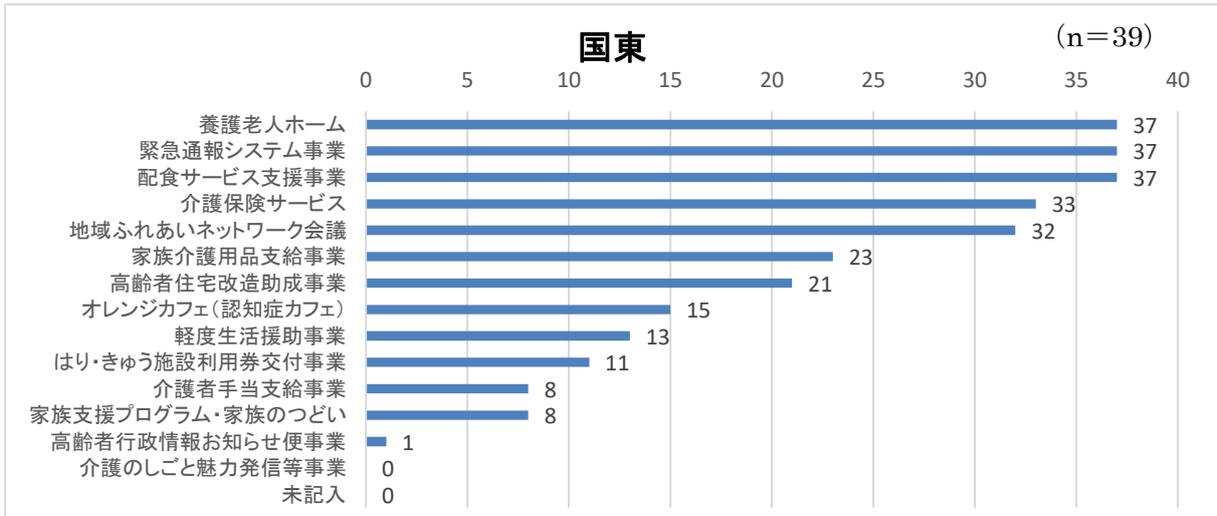
(人)



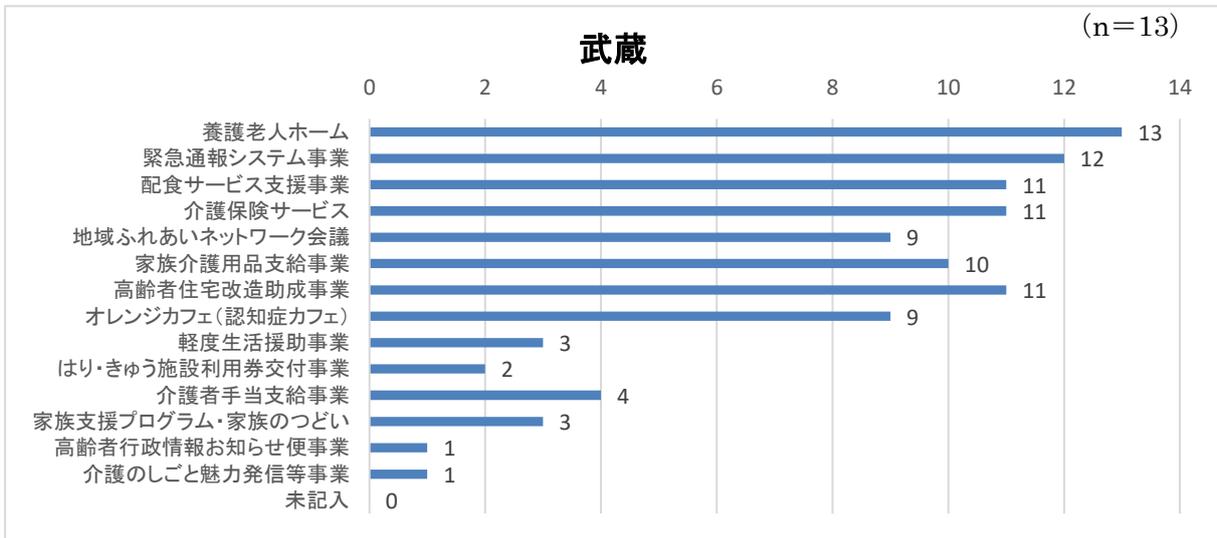
(人)



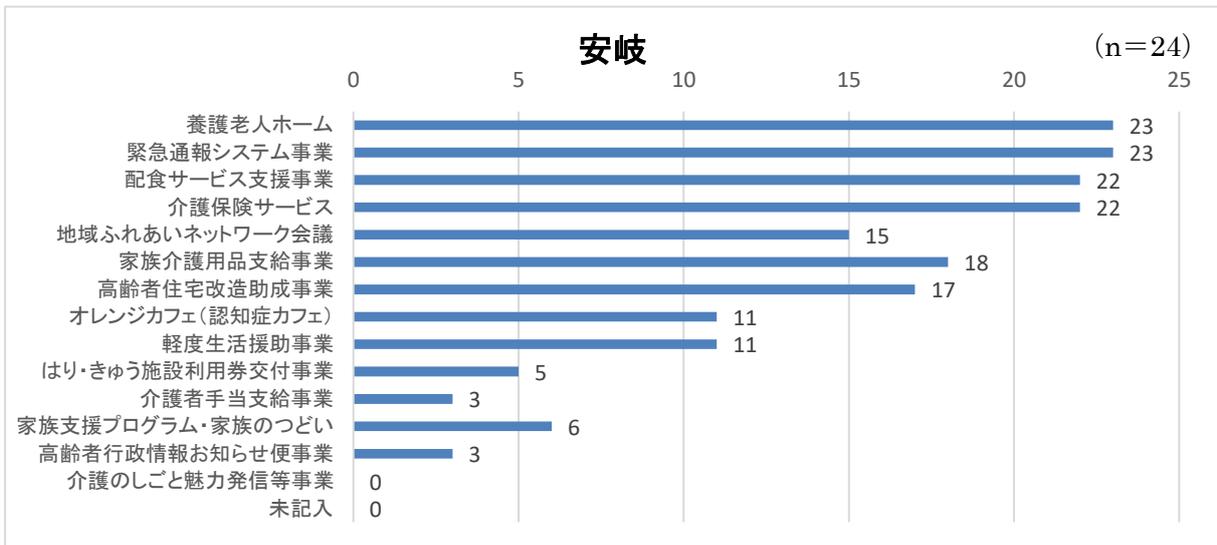
(人)



(人)



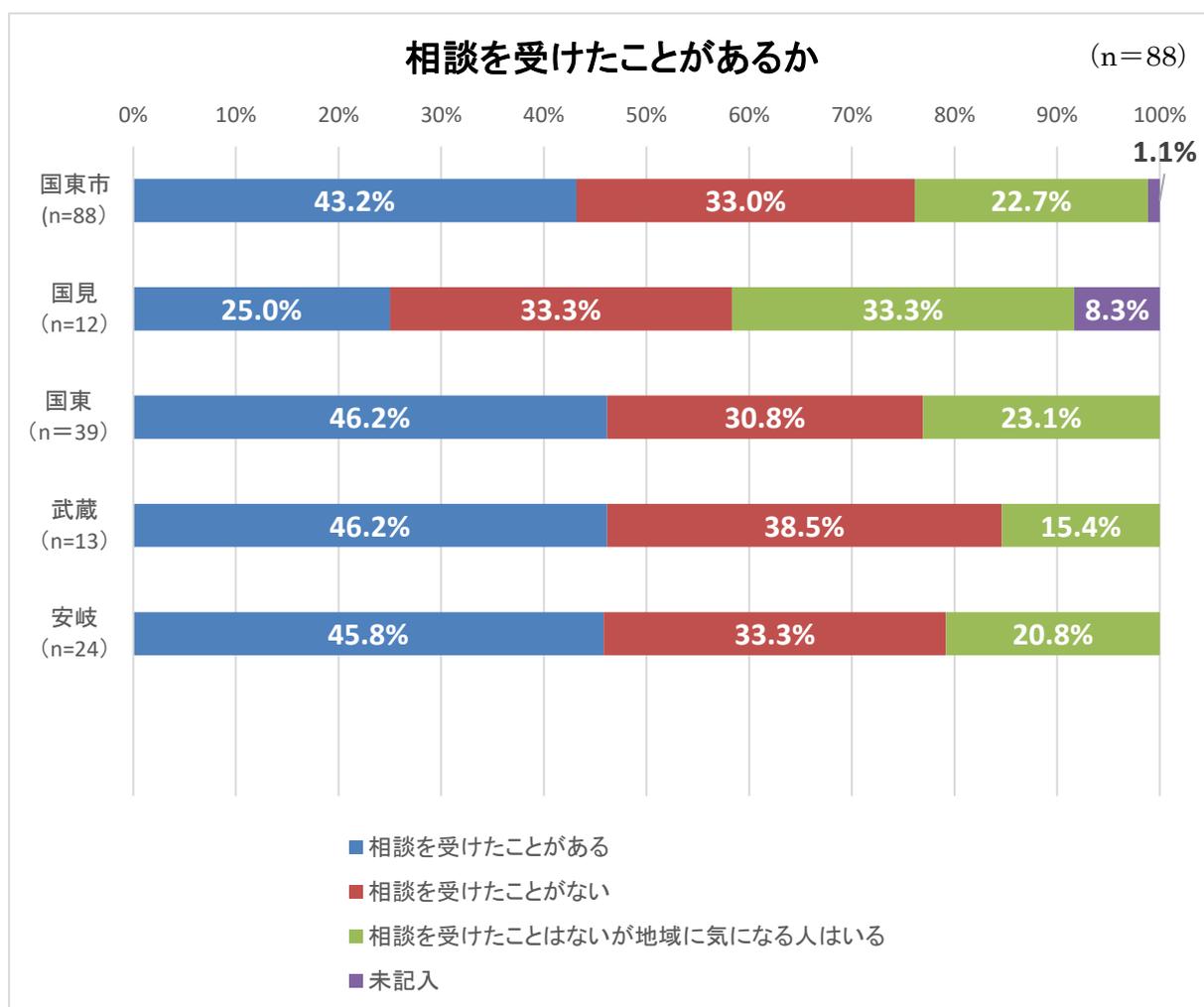
(人)



2. 認知症について

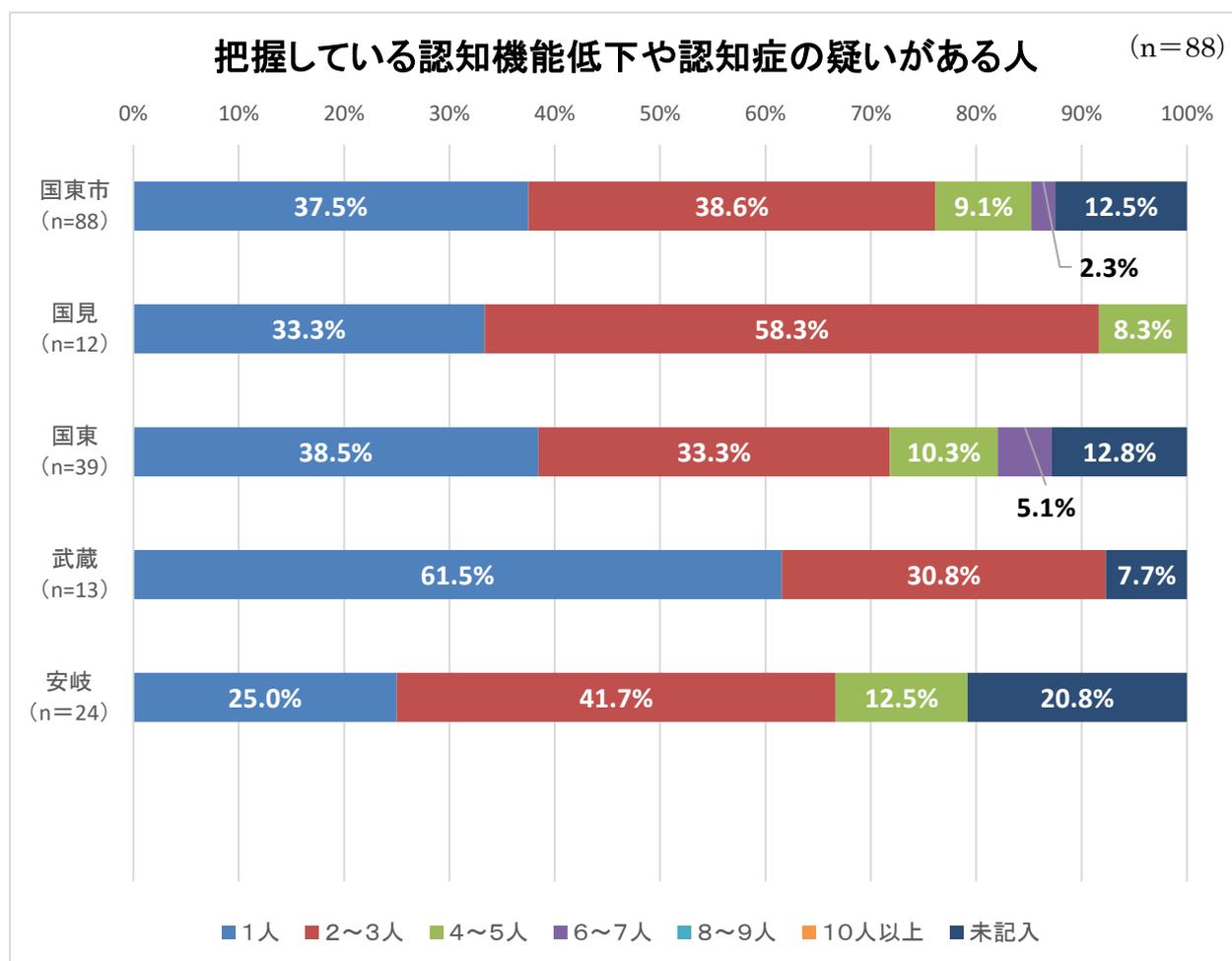
問 16. 担当されている地区の中で認知症の人について相談を受けたことがありますか。(○は1つ)

担当している地区の中で認知症の人について相談を受けたことがある人は 43.2%、
 受けたことがない人は 33.0%、相談を受けたことはないが地域に気になる人はいる人
 は 22.7%となっている。



問 17. 担当されている地区に、あなたが把握されている中で、認知機能の低下や認知症の疑いのある人が、何人程度いますか。(〇は1つ)

把握している認知機能の低下や認知症の疑いのある人の人数は、「2～3人」が38.6%と最も多く、次いで「1人」が37.5%、「4～5人」が9.1%となっている。

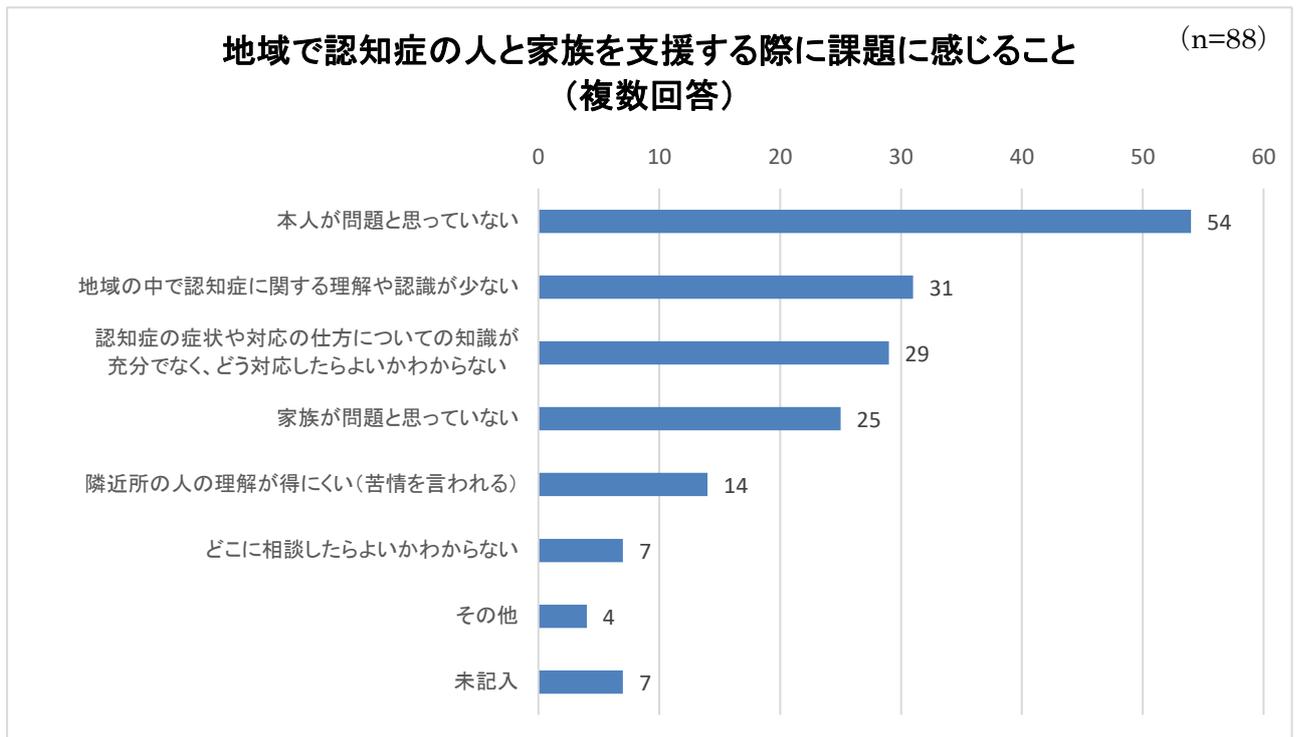


問 18. 地域で認知症の人と家族を支援する際に、課題と感ずること上位 3 つに○をつけてください。

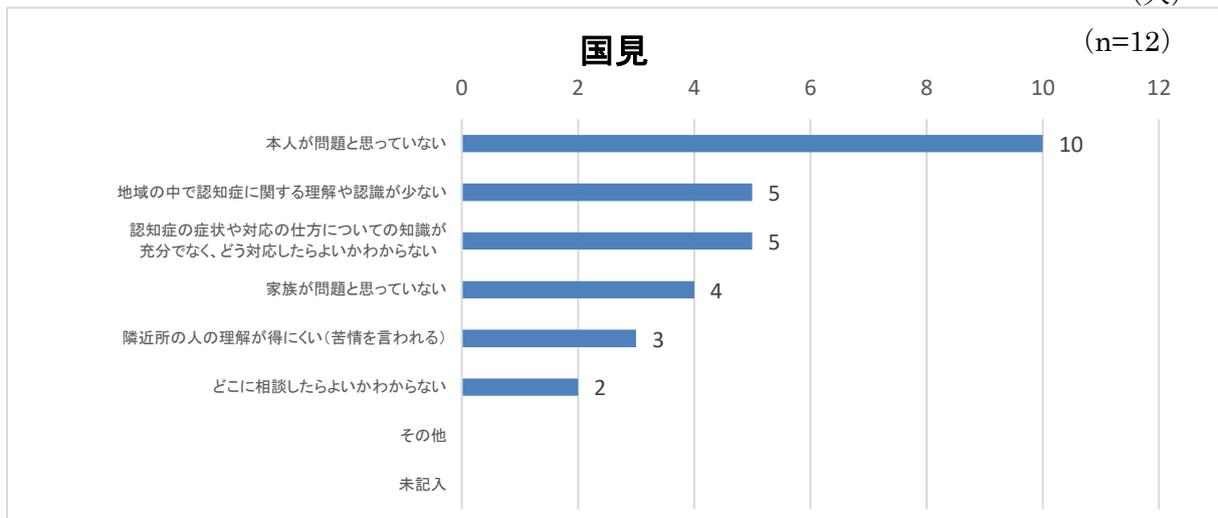
地域で認知症の人と家族を支援する際に課題と感ずることとしては、「本人が問題と思っていない」が最も多く、次いで「地域の中で認知症に関する理解や認識が少ない」「認知症の症状や対応の仕方についての知識が充分でなく、どう対応したらよいかわからない」「家族が問題と思っていない」の順となっている。

地区ごとにみても、「本人が問題と思っていない」が課題として最も多くなっている。

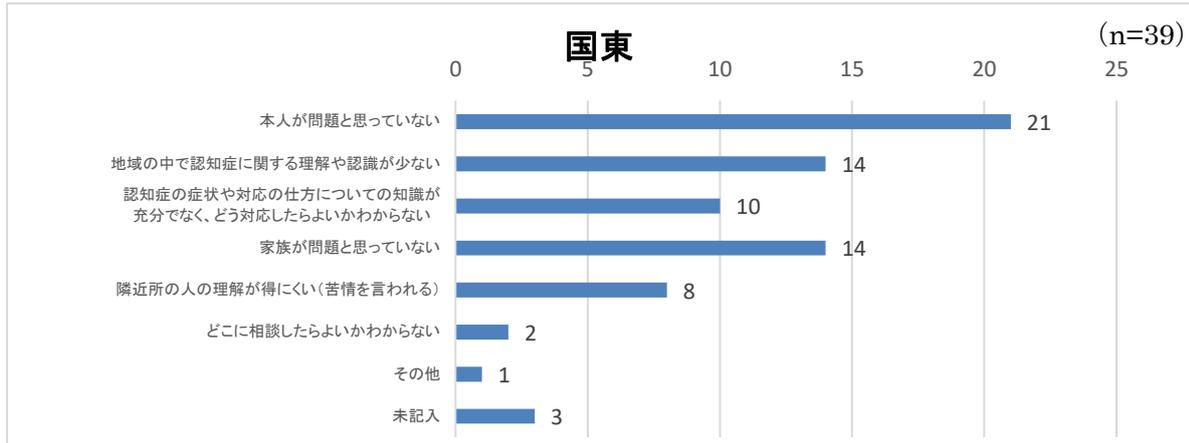
(人)



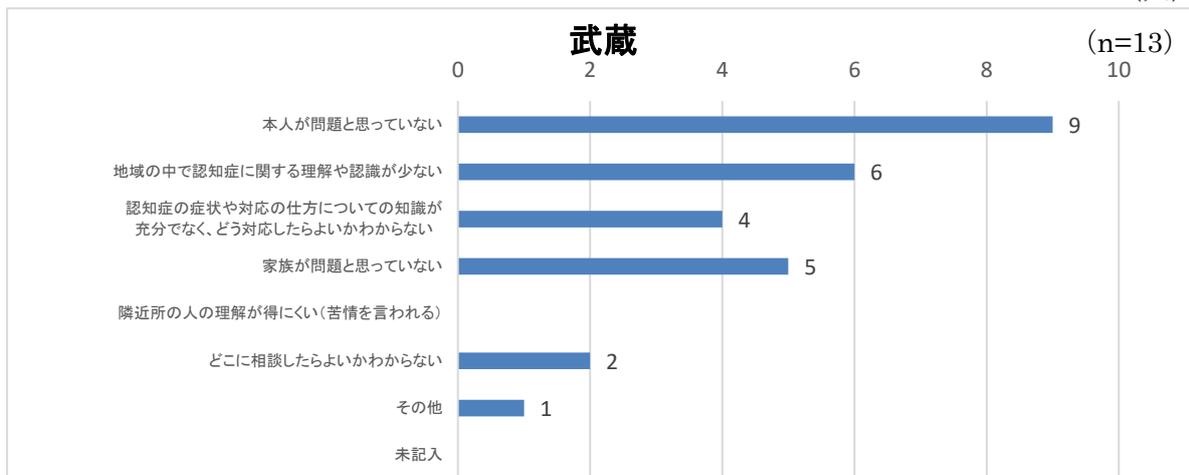
(人)



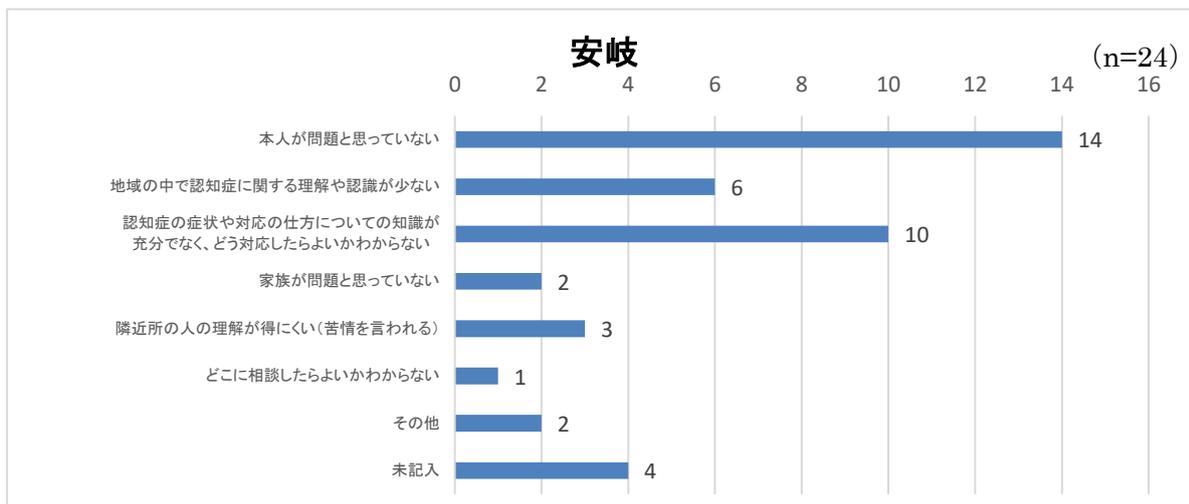
(人)



(人)



(人)



《その他の意見》

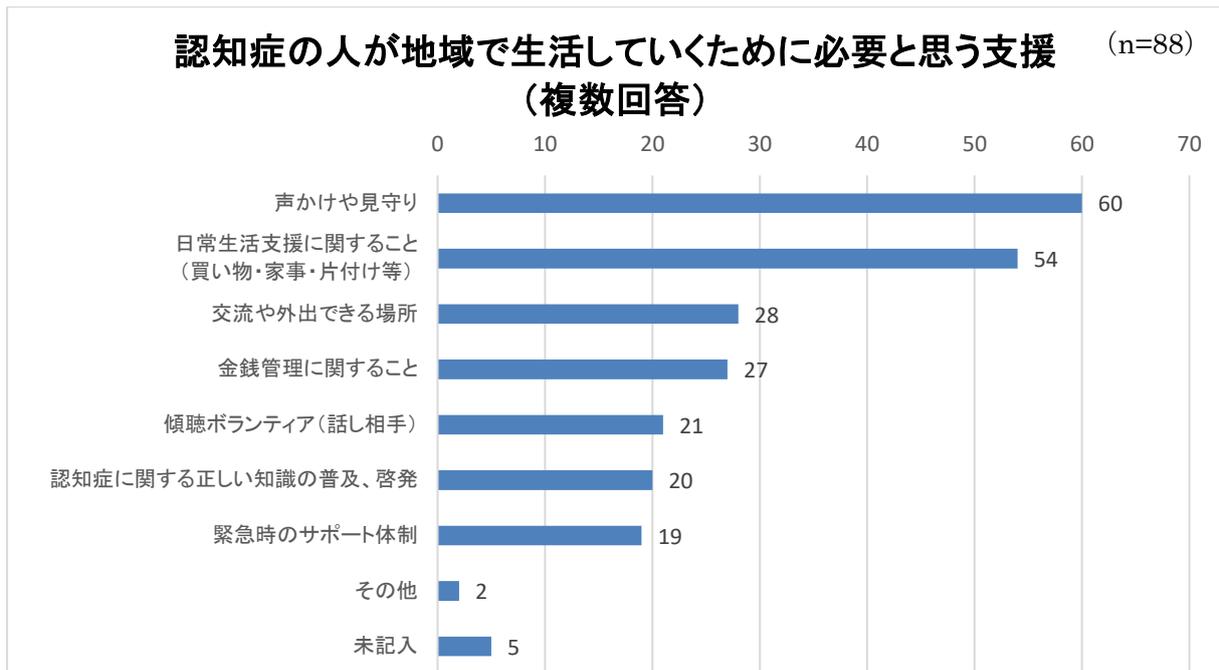
- ・まだ大丈夫と思っている
- ・近所に知られたくない
- ・子供が親の認知症にあまり向き合わない
- ・家族は思っているが周りに発せられない
- ・家族がうまく動いている

問 19. 認知症の人が地域で生活していくにあたり、必要だと思う支援上位3つに○をつけてください。

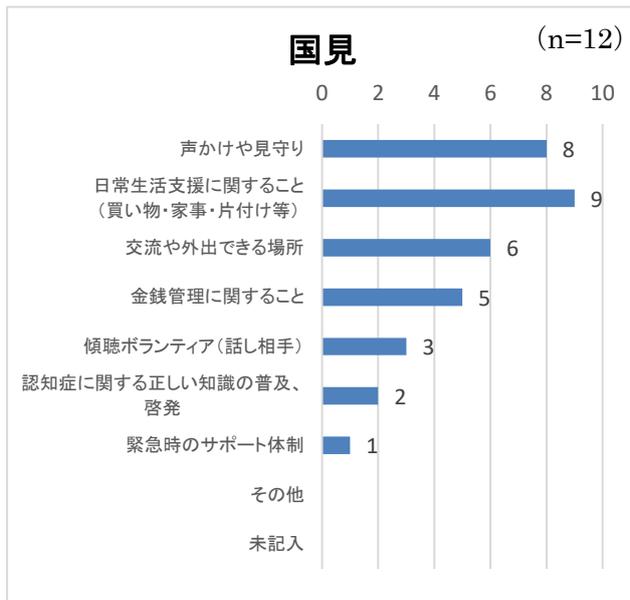
認知症の人が地域で生活していくにあたり、必要と思う支援としては、「声かけや見守り」が最も多く、次いで「日常生活支援に関すること（買い物・家事・片付け等）」「交流や外出できる場所」「金銭管理に関すること」の順となっている。

地区ごとでも、順位の違いはあるが同様の項目が上位を占めている。

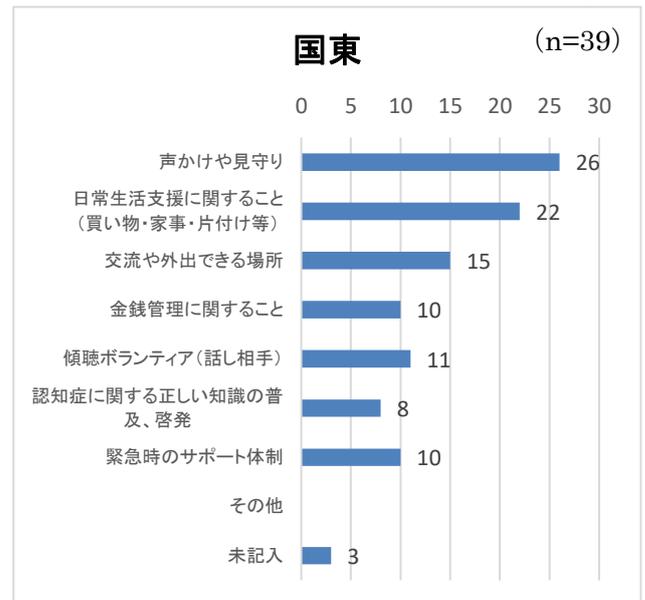
(人)

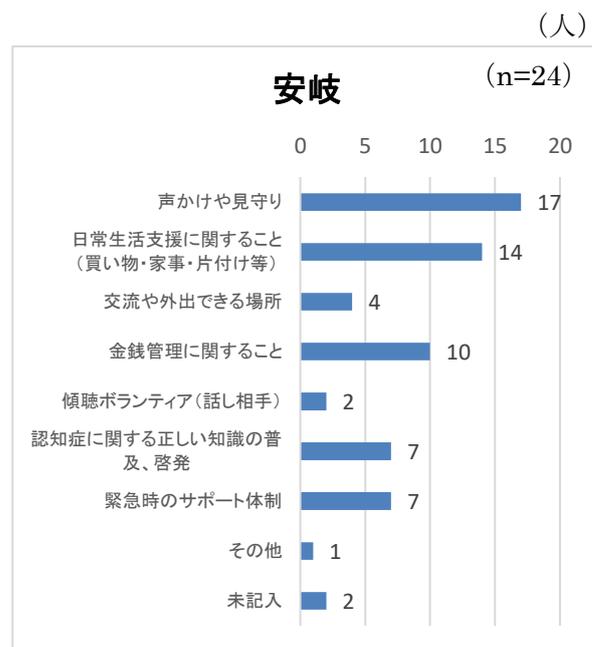
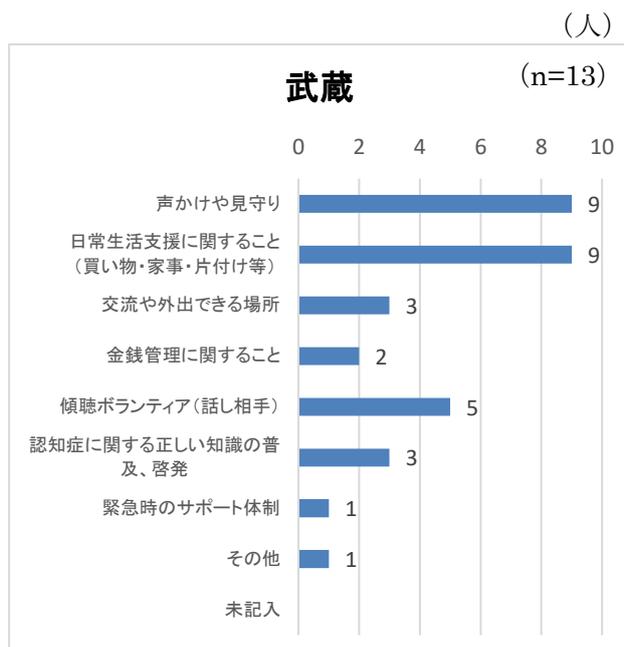


(人)



(人)





《その他の意見》

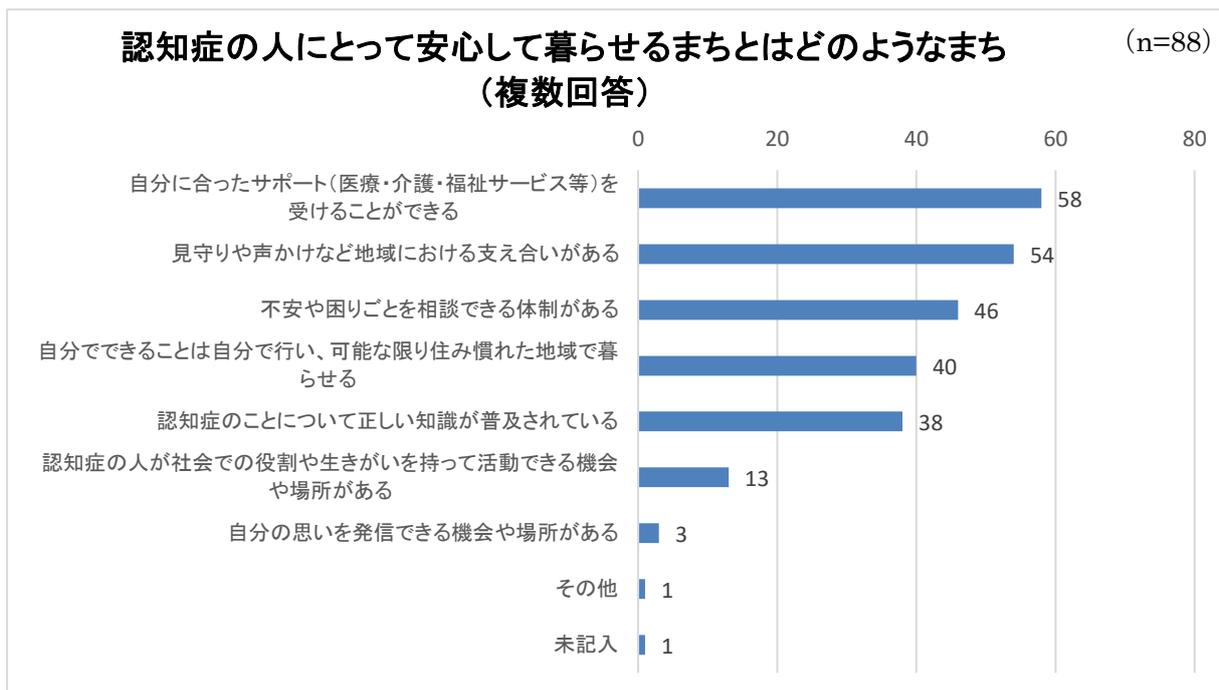
- ・ 独居の場合は子供に現状を知らせる
- ・ 家族がオープンになれる環境づくり

問 20. 認知症の人にとって安心して暮らせるまちとは、どのようなまちだと思いますか。あてはまるもの上位 3 つに○をつけてください。

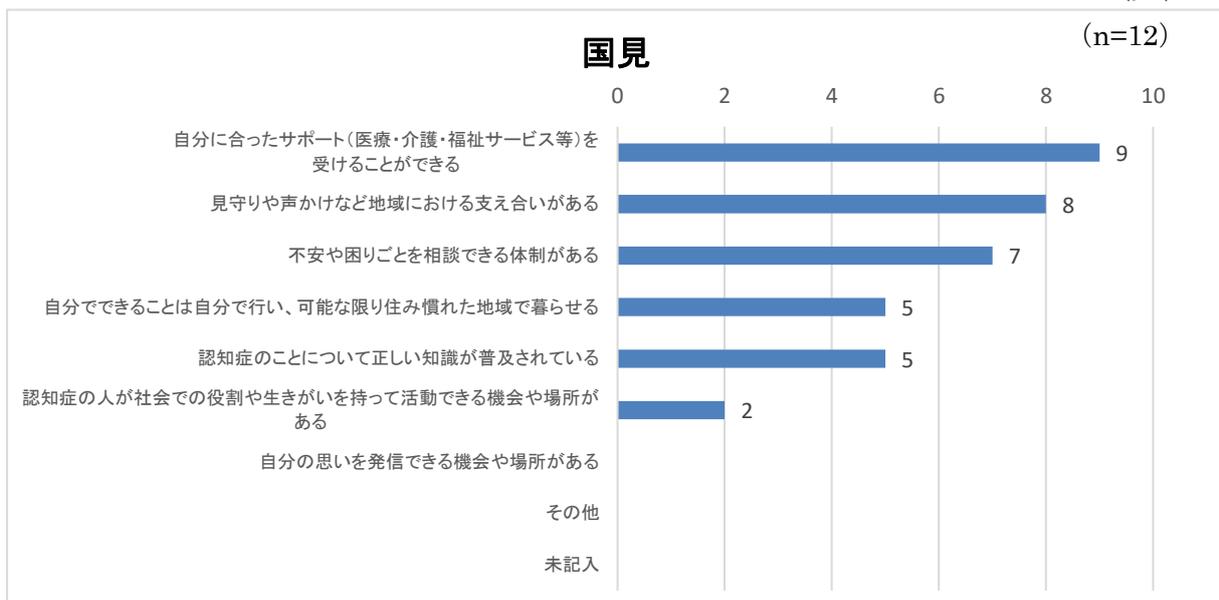
認知症の人にとって安心して暮らせるまちとは、どのようなまちだと思うかについては、「自分に合ったサポート（医療・介護・福祉サービス等）を受けることができる」が最も多く、次いで「見守りや声かけなど地域における支え合いがある」「不安や困りごとを相談できる体制がある」の順となっている。

地区ごとにみても、順位の違いはあるが同様の項目が上位を占めている。

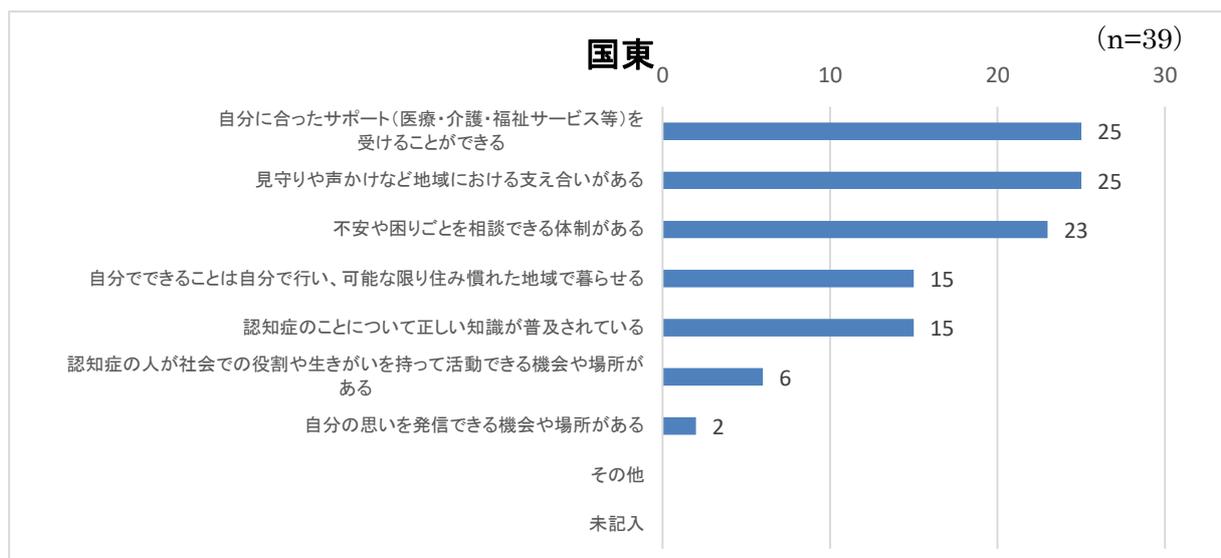
(人)



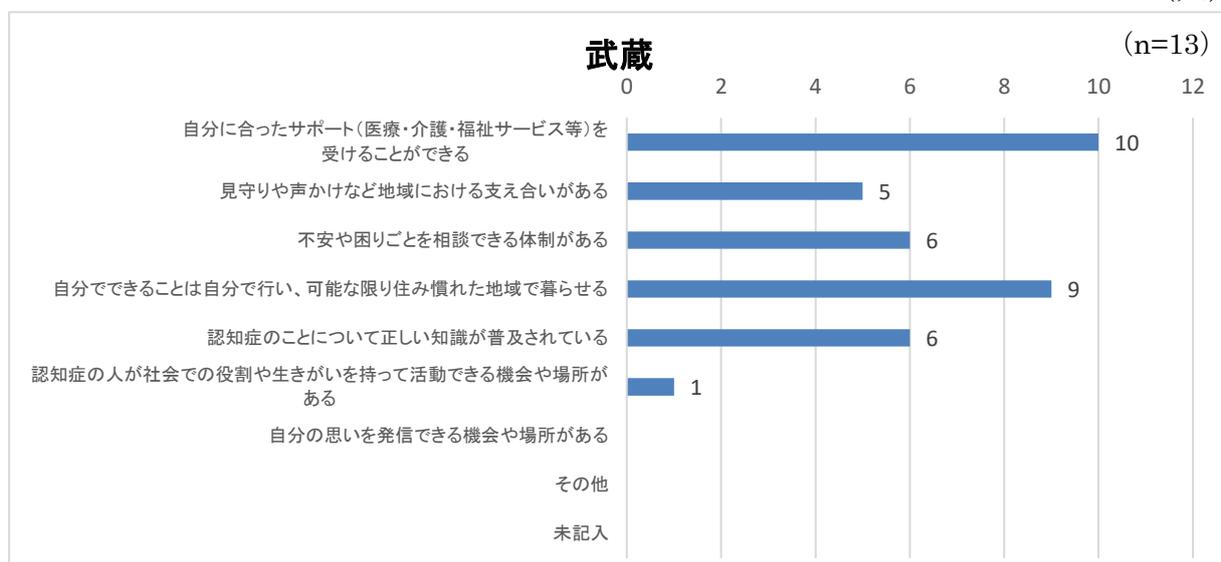
(人)



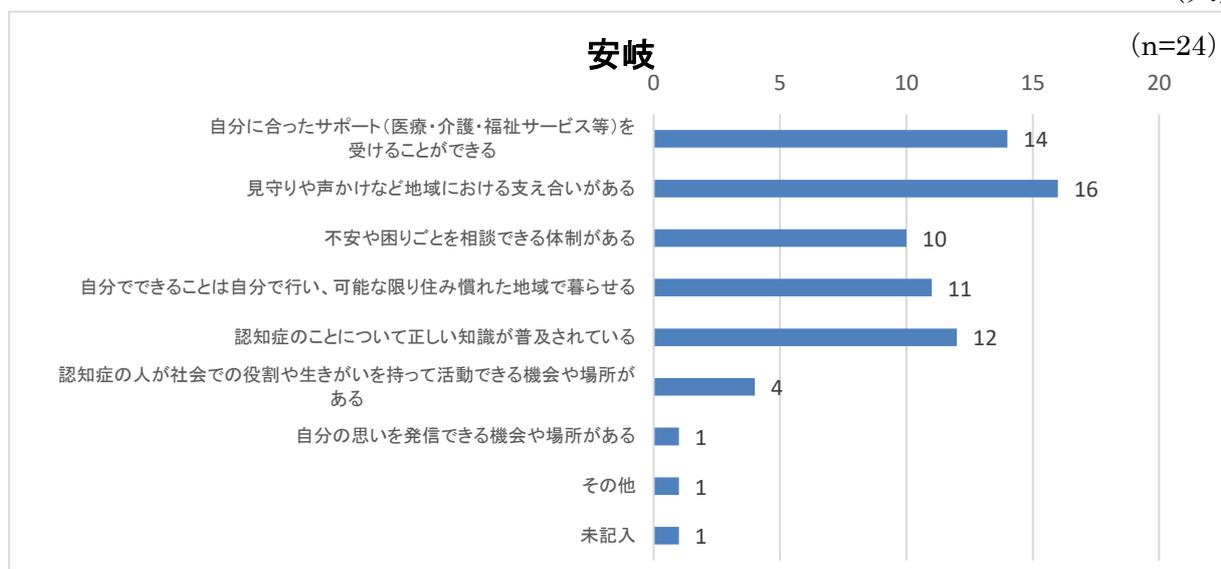
(人)



(人)



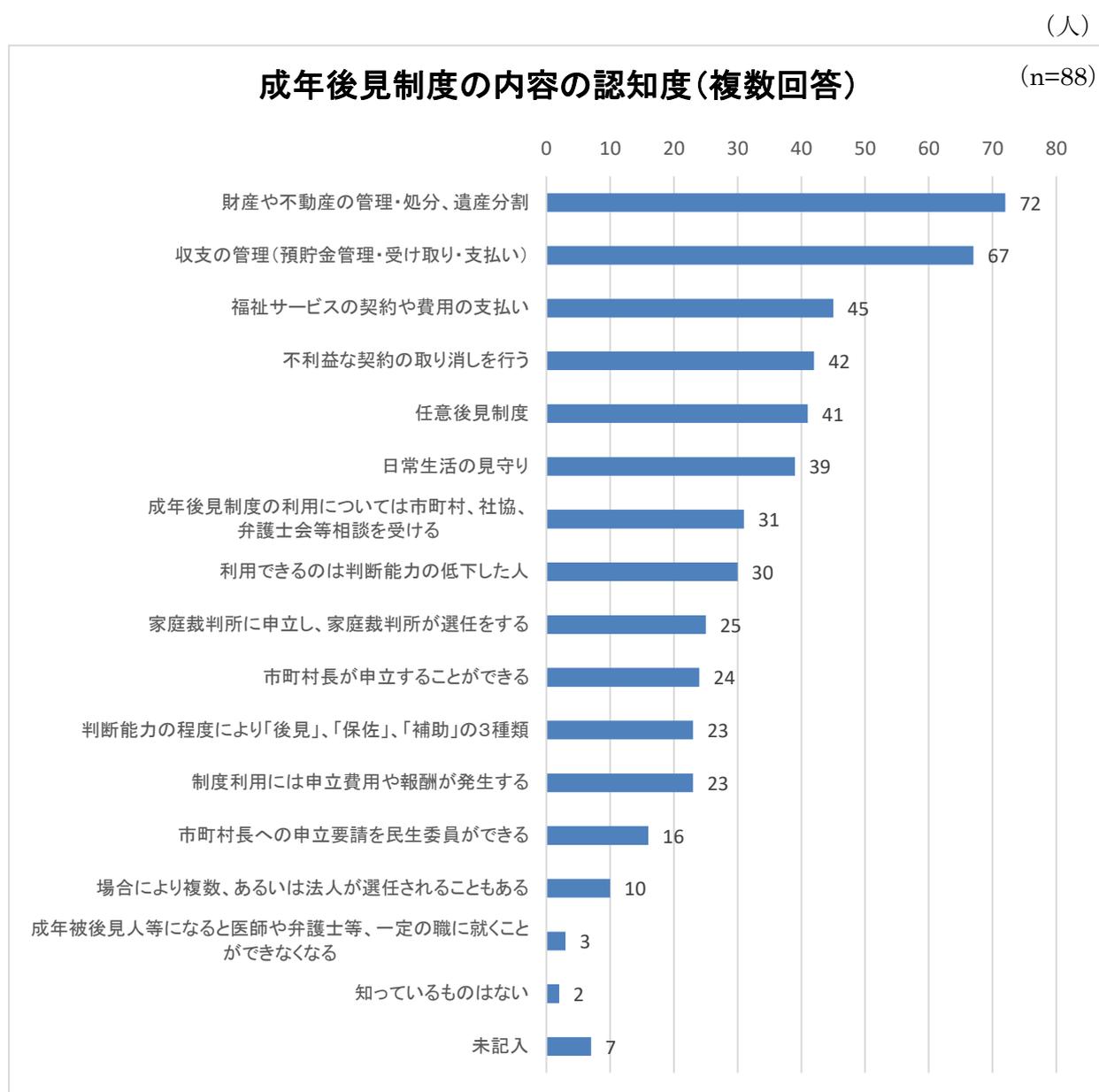
(人)



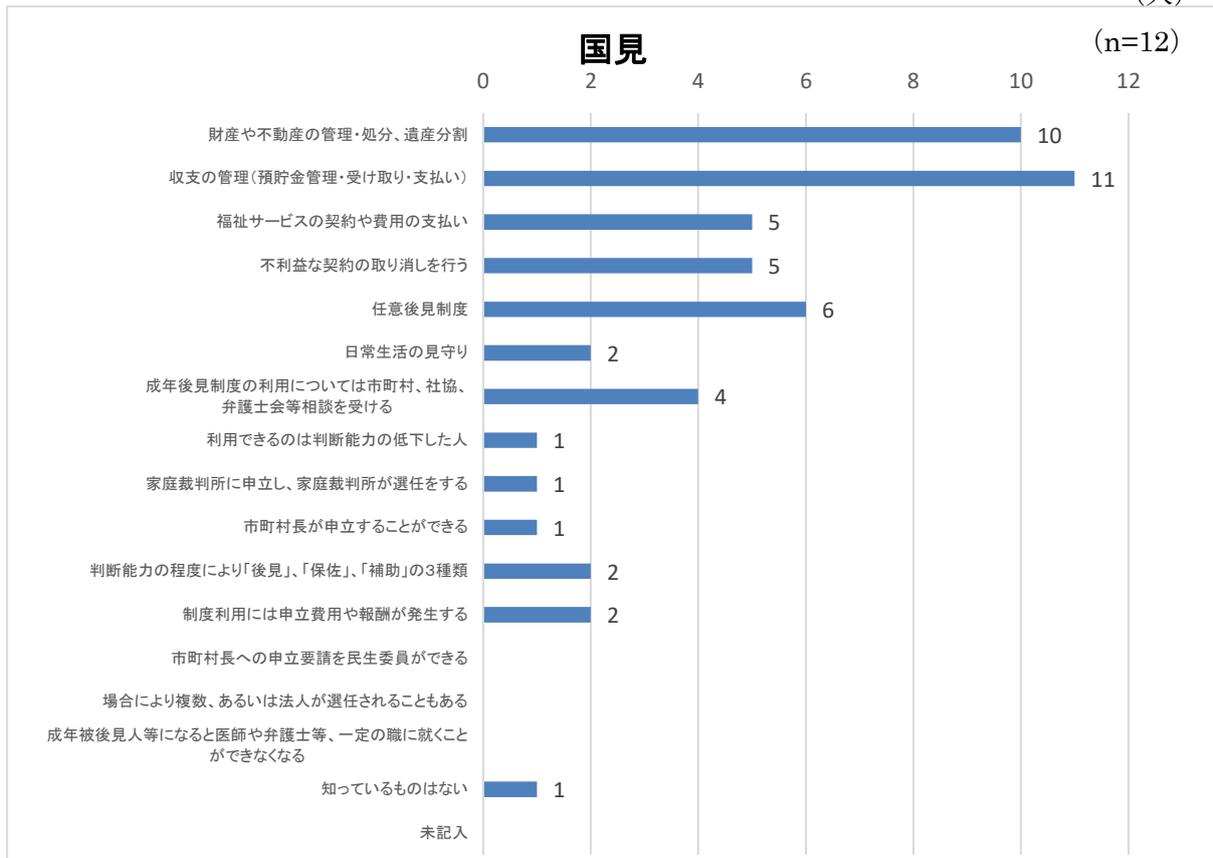
3. 成年後見制度について

問 21. 成年後見制度の主な内容は以下のとおりです。知っていることすべてに○をつけてください。

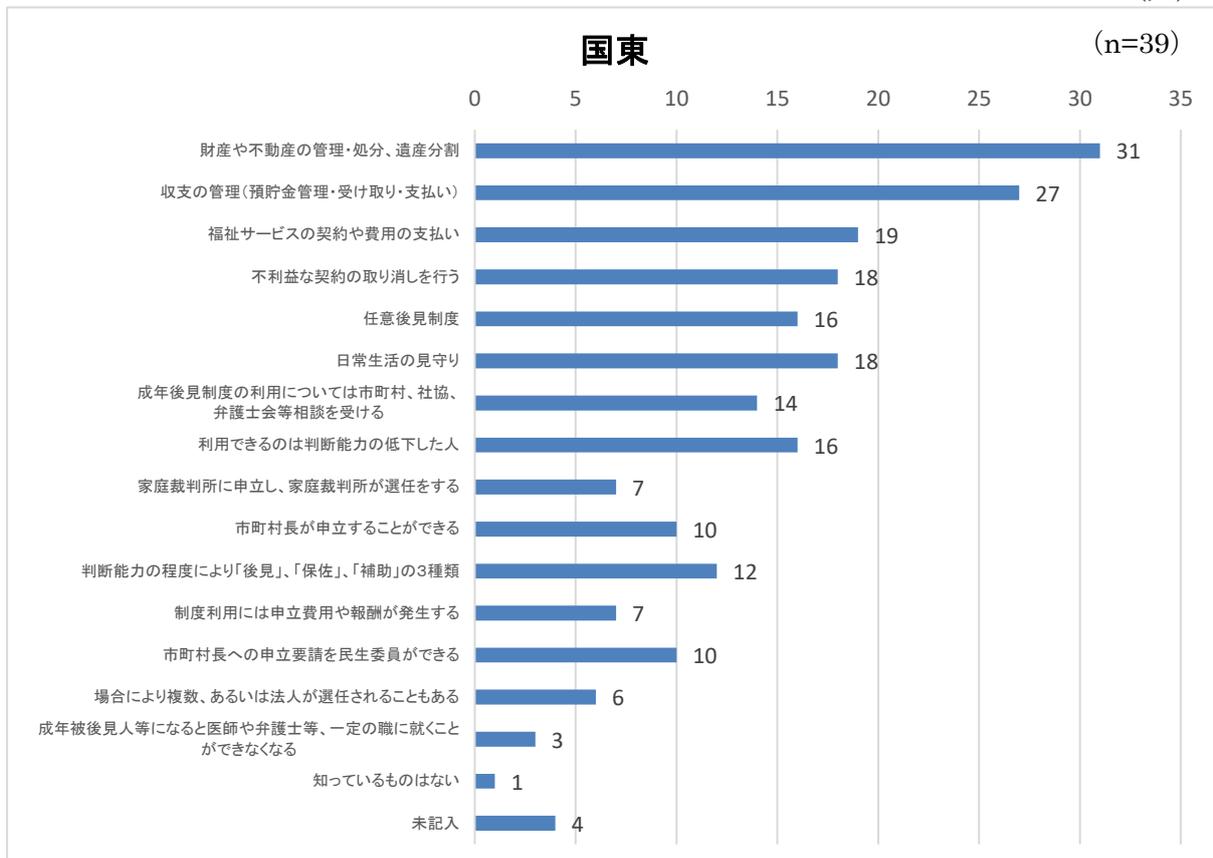
成年後見制度は、財産の管理、収支の管理、契約や支払い等のお金に関わることで利用する制度との認識が高く、判断能力が低下した人が利用できる制度という認知度が低い。また、民生委員が市町村長に申立要請できることについても、認知度が低い。



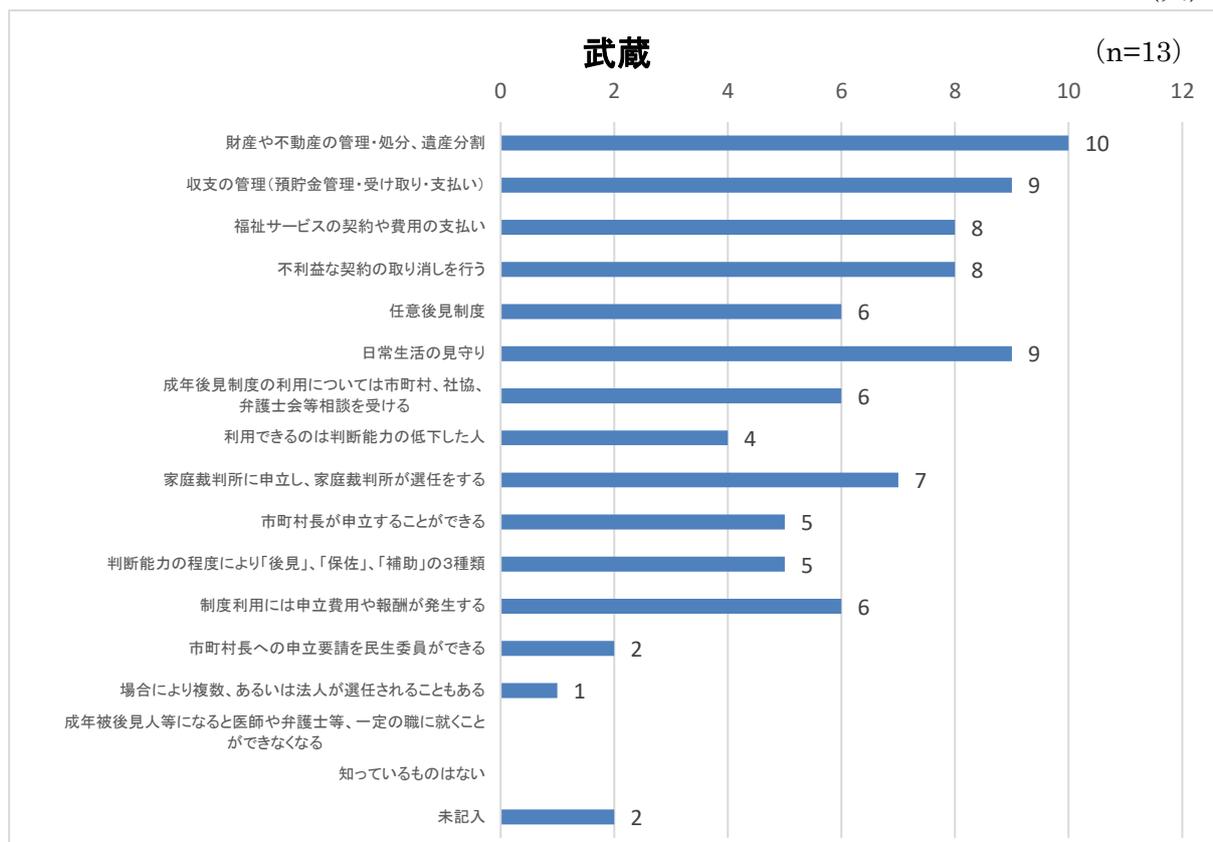
(人)



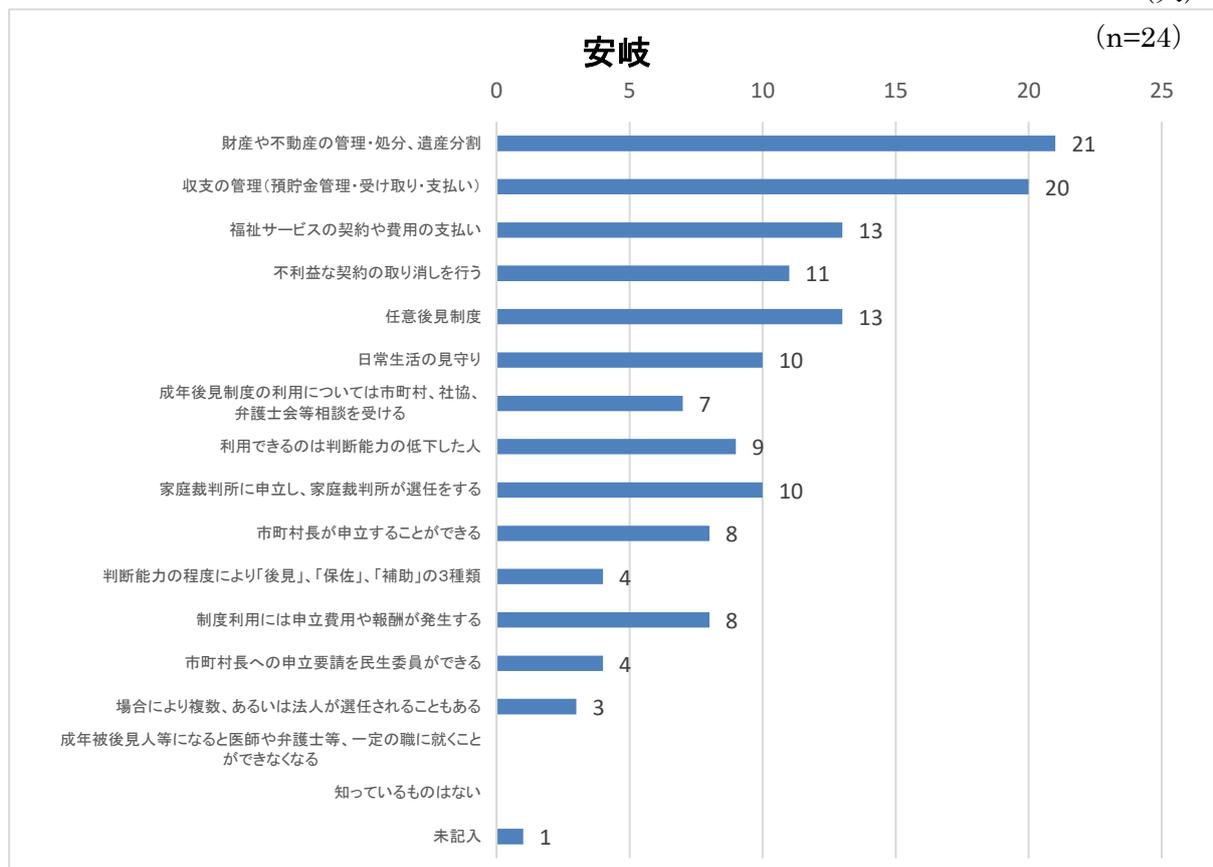
(人)



(人)

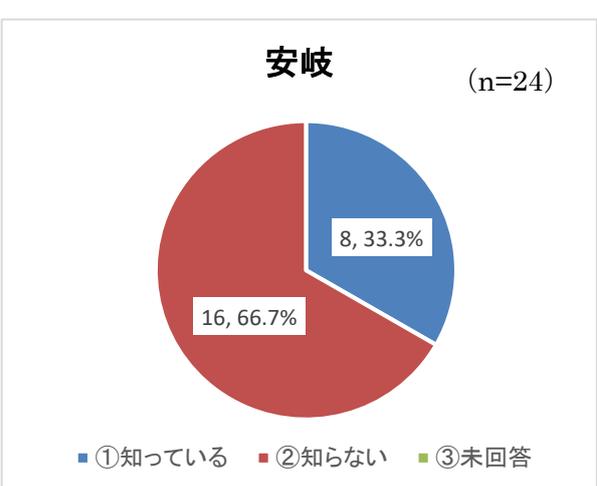
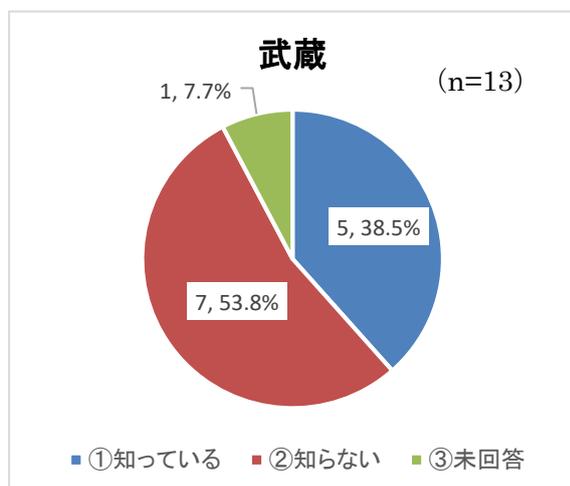
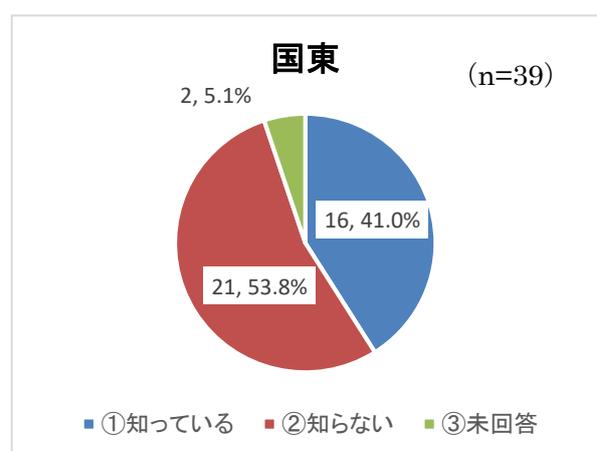
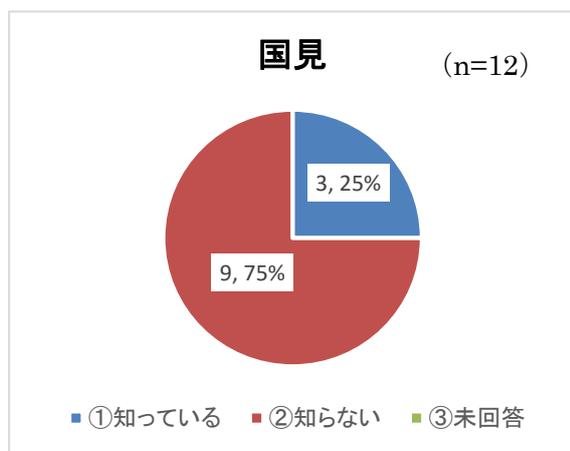
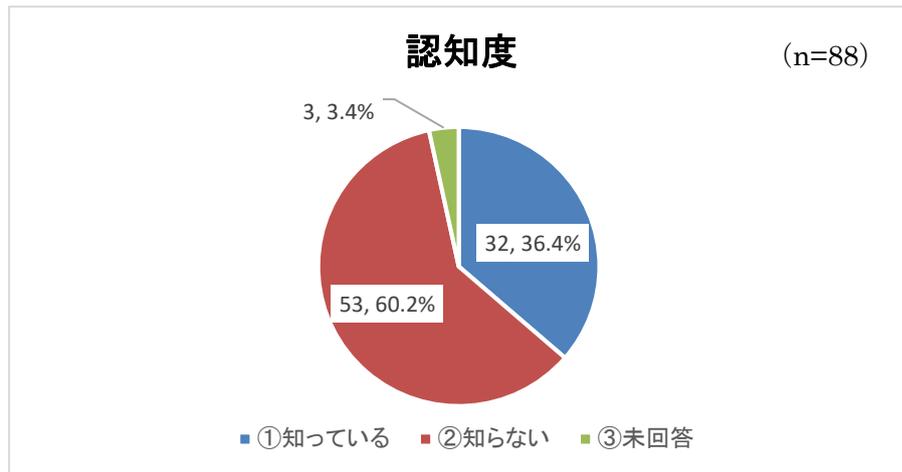


(人)



問 22. 成年後見に関する相談及び成年後見制度等の利用を必要とする方を支援するために、平成 31 年 4 月に「くにさき半島地域成年後見支援センター」を、豊後高田市・国東市・姫島村の 2 市 1 村で設置しました。
「くにさき半島地域成年後見支援センター」を知っていますか

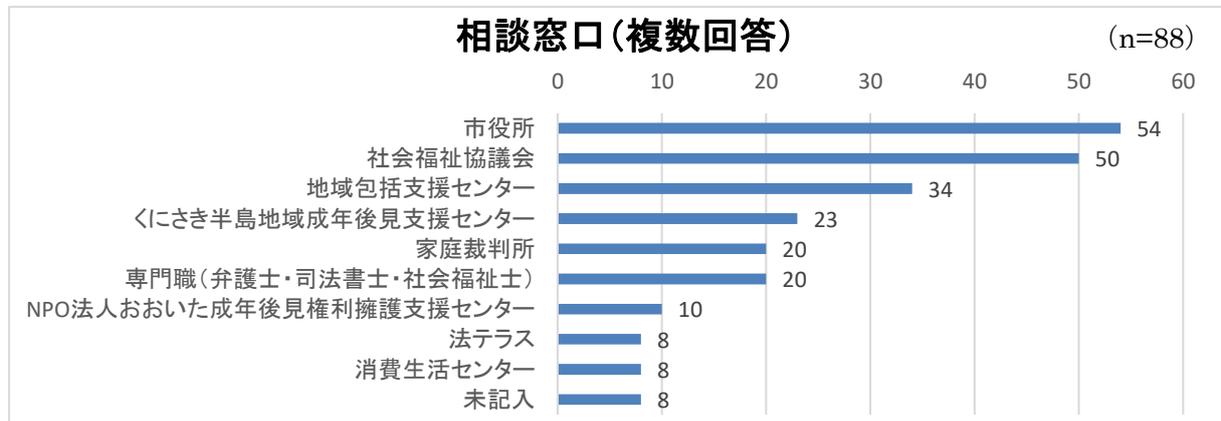
「くにさき半島地域成年後見支援センター」を知っている人は、36.4%となっており、認知度はまだ低い。



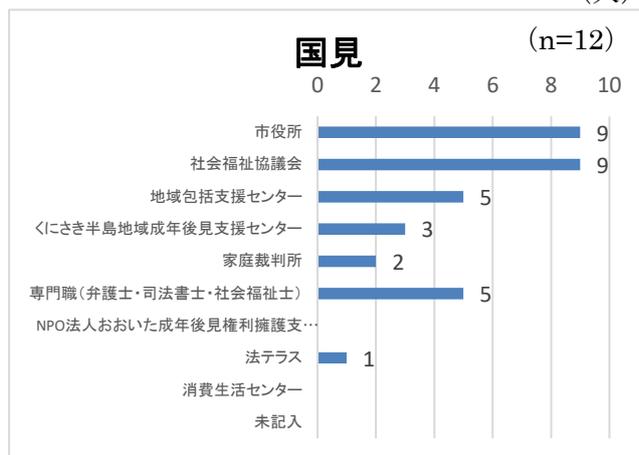
問 23 成年後見制度の相談窓口は下記のとおりです。知っている窓口すべてに○をつけてください。

成年後見制度の相談窓口については、「市役所」が最も多く、次いで「社会福祉協議会」「地域包括支援センター」の順となっている。

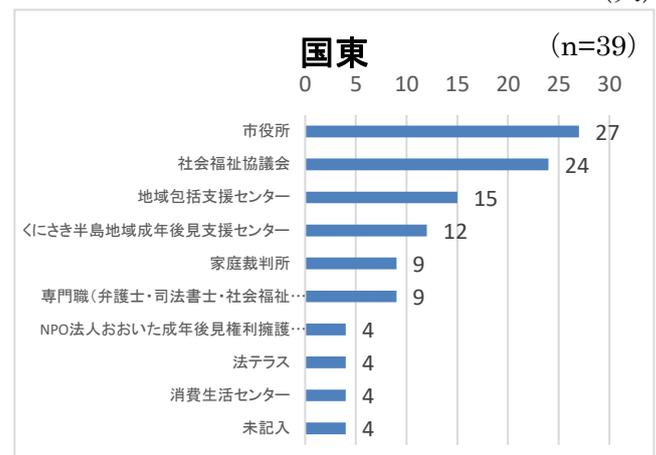
(人)



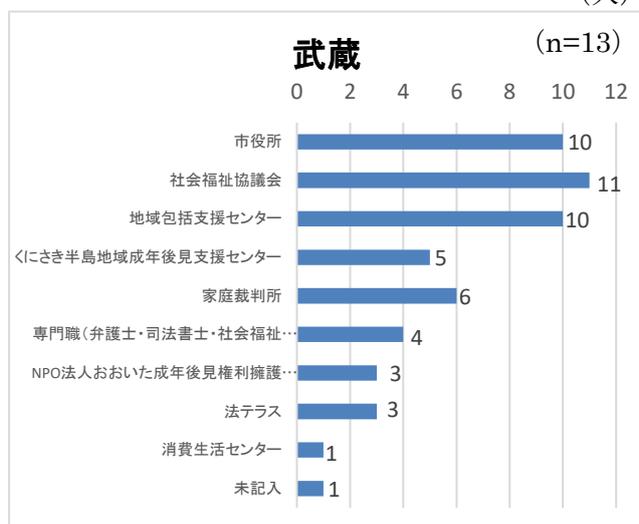
(人)



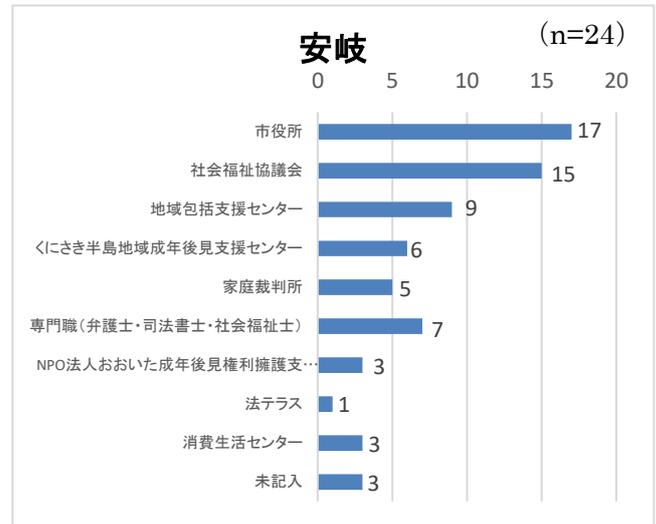
(人)



(人)



(人)



問 24. 現在、担当地域の中で、以下のような困りごとがあるため、成年後見制度を利用したほうが良いと思われる方が何人程度いますか。

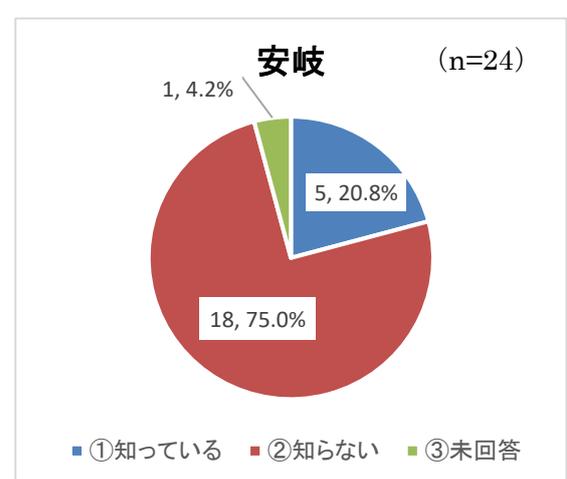
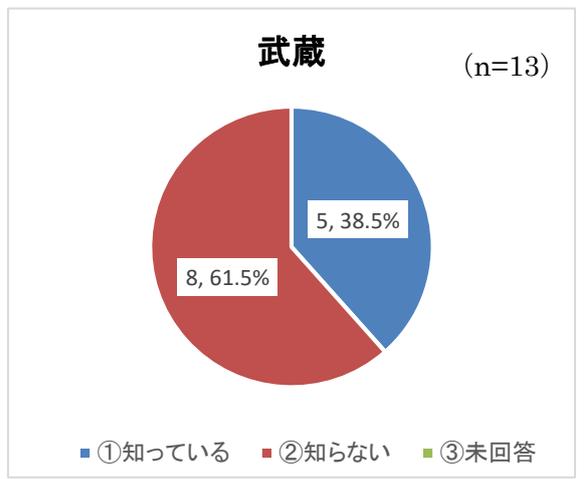
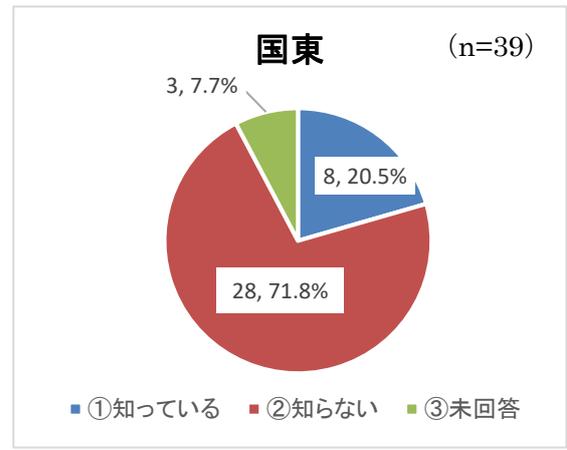
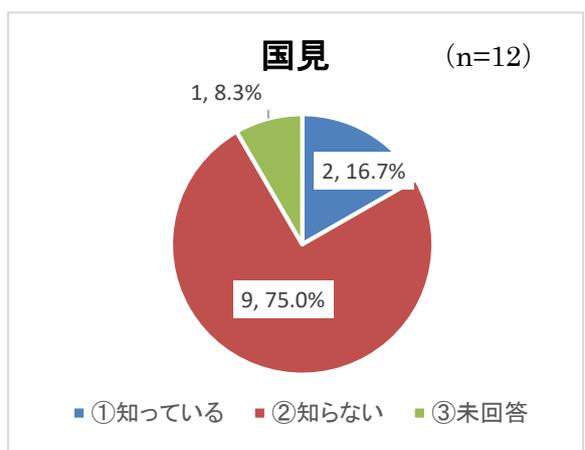
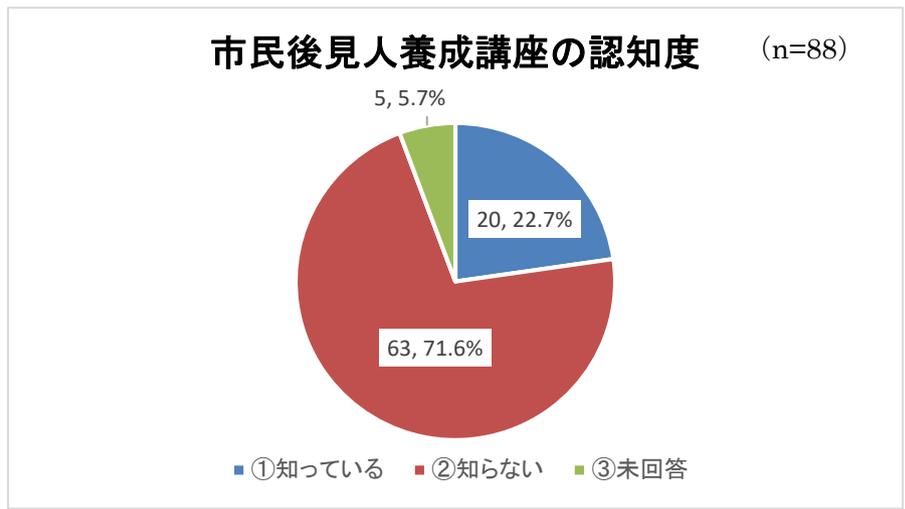
	国東市	内 訳			
		国見町	国東町	武蔵町	安岐町
頼れる家族がいない、またはいるかどうかわからない	20 人	4 人	9 人	2 人	5 人
住居がゴミ屋敷もしくはそれに近いもの	16 人	1 人	11 人	0 人	4 人
通帳の管理やお金の出し入れに不安がある	9 人	0 人	4 人	2 人	3 人
物忘れが多く日常生活に支障がでている	6 人	0 人	2 人	2 人	2 人
訪問販売等で高額商品を頻繁に購入している	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
その他	4 人	2 人	0 人	1 人	1 人

<その他の記入内容>

- ・生活保護を受けるようになったが、近所の物を取ったり？お金の使い方が不明。その後の見守りがあれば

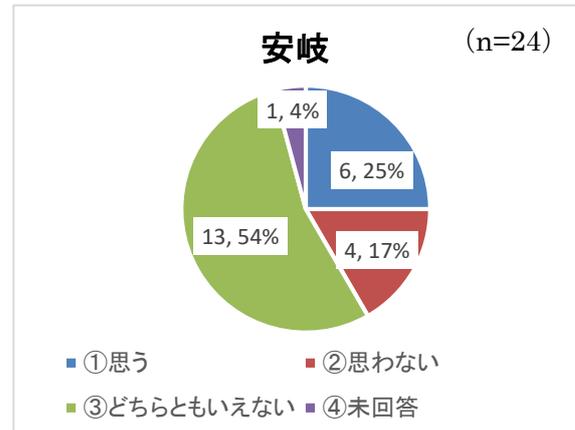
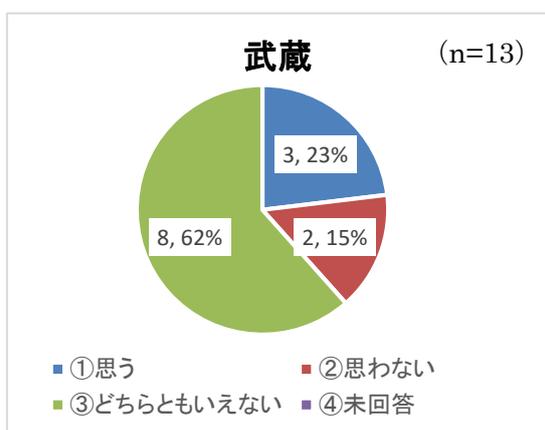
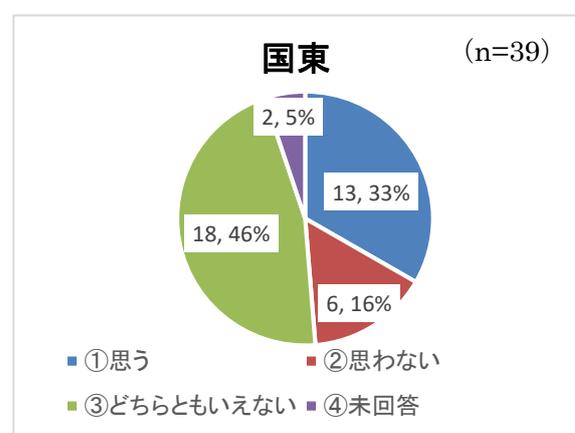
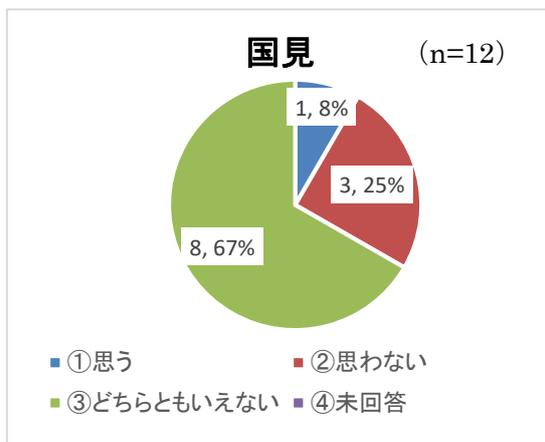
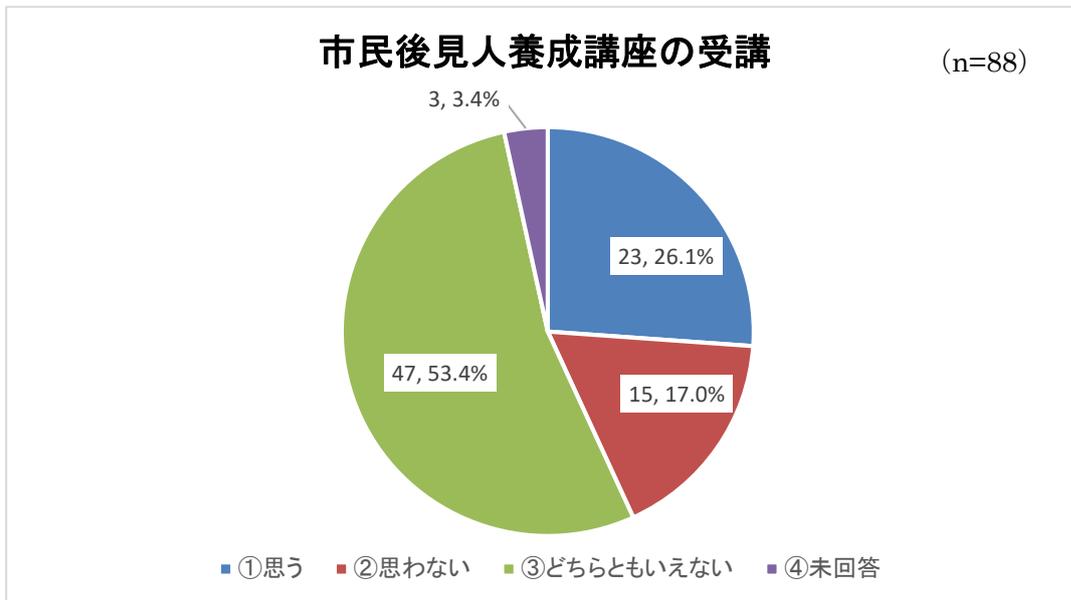
問 25. 成年後見制度を利用するにあたり、意思決定が困難な人の権利を尊重し、地域で安心して暮らせるよう人材育成を目的として、くにさき半島地域成年後見支援センターが、現在市民後見人養成講座を開講していることを知っていますか

くにさき半島地域成年後見支援センターが、市民後見人養成講座を開催していることの認知度は22.7%と、非常に低くなっている。



問 26. 今までの民生委員の経験を、今後の地域での活動に活かす方法として、市民後見人やその補助での活動をするために、このような養成講座があれば受講をしてみたいと思いますか

養成講座を受講したいと考える人は、26.1%である。



4. 民生委員・児童委員の活動を通じての意見、要望、課題

問 27. 今までの民生委員・児童委員の活動を通じて、率直なご意見やご要望、課題などがあればお聞かせください。

意見

- ・野田、新涯地区は訪問対象者が多すぎます。多い地区は別々にされたほうが、訪問回数も多くなり、本人との話し合いがゆっくりできるのではと思う
- ・最近防災無線より、民生委員をかたる不審な電話が、高齢者・独居者にかかってくるとの情報があり、活動に支障が出る可能性（危機感）があり、懸念している
- ・個人情報ということで共有できないこともあり、民生委員の立ち位置に疑問を持ったことがある
- ・民生委員活動は、市役所との協力関係が欠かせない。でも、担当部署は「守秘義務」を盾に連携していない。民生委員から情報ばかり求めるが担当者は提供しようとしめない。情報の共有を是非お願いしたい
- ・民生委員の2年目からコロナ感染予防のため、研修会がなくなり、定例会も中止することが多く、自分の活動がこれでよいのか不安に思いながらの日々だった
- ・2～3年目から、少しずついろいろなことがわかってきたように思います。一期で民生委員をやめると、やっとわかってきつつあるのに・・・という気持ちになったので、区長の勧めもありもう一期することにした。ただ、仕事を週3日間しているので、民児協の定例会や研修旅行等に出席することが難しく困った。しかし、民生委員をしたことで、地域の高齢者と積極的にかかわっていこうという気持ちになり、たくさんの方々とあいさつや話ができるようになったことが、財産になった
- ・民生委員の活動は、大変だと思った。活動のために自分の家の仕事ができないこともあり、周りの方に迷惑をかけた。
その反面、地域の人達と交流もできて、地区のことがわかって、それはそれで良かったのかな～とも思うが・・・
これから先、今まで以上に高齢者や一人暮らしが多くなると思う。一人で見守るには、限界があるのでは・・・と思う

意見

- ・一期目は何もわからず、色々と覚えることも多く、あっという間に過ぎたようにある。二期目にはいり、人と人とのかかわりに、信頼関係が生まれ、色々と話ができるようになり、話を聞いたり悩み等を聞くにあたり、色々な事、たくさんの知識を持ち、自分が理解し、相談に乗り、次につなげていくことが大事だと思った
- ・毎月の訪問活動の中で、声掛け、話し相手になり、独居の方に喜ばれている。
- ・高齢者がますます増えていく中で、民生委員だけでは難しくなってくる。一番は地域や近所の支えあい活動がいちばんと思う
- ・民生委員は人口割に地域に委嘱されているはずだと思うが、民生委員によって担当する人数が偏っている
- ・ふれあいネットワーク会議で、地区の一人暮らしの方の生活の様子を、区（長？）や班長さんが集まった時に報告している。区でまた見守りをしてくれますので安心
- ・見回りや声掛けは民生委員の押し付けであってはならない。自然体が一番
- ・暴力問題等で警察へ相談すると、相談者の氏名を秘密にしてもらいたいのに、相手に伝わってしまう。相手から恨まれる。絶対に警察に相談したくない
- ・区に入っていないアパート入居の方の訪問で、「市のことが判らない」と聞かれることがありました。勉強不足で説明できず、「市役所へ聞いてみて下さい」と伝えますが、色々な情報源があると良い
- ・実際の活動は手探りの状況で、かつコロナの関係で思うように出来ていない。親切心も一歩間違うといらぬおせっかいとなる。見守られることへの拒否感を味わうこともあった
- ・認知症の人に対する近隣（特に頼られている人）の人のお世話には頭が下がる。毎日気の休まる時がないようで、何とかデイサービス等に行けるよう、早急な手配をお願いしたい。地域の助け合いというのは美しい、けれども現実には優しい人ほど疲れ果ててしまうし、限度があると思う
- ・地域の人との繋がり、信頼を感じた。ただし、民生委員の非力さも痛感した
- ・活動の中で私自身の人とのつながりが増え嬉しかった
- ・地域の人たちから、困っているようだと言われていただく事が多かったです。聞いたらすぐに対応することを心掛けた
- ・期間終了後も協力したいと思っている。高齢者へのおしゃべり相手や小さなお手伝いで関わり喜んでもらえたらと思う

<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は益々高齢者が増えて問題が多くなり、大変なことだけど一つ一つ解決していくことが、大事だと思う ・担当地区内に引きこもりで家族に暴力を振るうなどの家庭があり、地域の警察署の方も来てくれたが、民生委員に相談が多い。どこまで民生委員として、対応すべきかわからないことがあった ・一人暮らしの方はお元気であれば、話し相手が欲しいのが一番の望みのように思われる
<p>要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車の免許証を返納する方が、毎年1～2人といいます。病院やスーパーなどの遠い地区では、行政の早い対策を期待している ・月の定例会で、短時間でもテーマを決めて講習会を行って欲しい ・民生委員の活動はボランティアなのに、やること全てが義務のように思われているところがある。その点を広報して頂きたい（無償活動） ・対象者の方にいわれもない誹謗を受けたりということもあり、民生委員として活動していくことに、疑問を感じたこともあった。今後の民生委員の方の活動に、もっと地域の方々が思いを寄せて頂けることを望む ・福祉の行政からも情報を待つだけではなく、現場を見つめる機会を作っていたらと節に願っている ・何でも民生委員に相談しましょうとテレビCMが流れているが、民生委員はスーパーマンではない。特に防災等については区長や防災士さんへ ・独居老人の中には、ゴミ屋敷になっている家もある。近所からの苦情もある。私が無知なのかもしれないが、片づけをしてくれる支援等があるとよいのでは？（あまりお金のかからない方法で） ・私の担当地区にはアパートがあり、独居老人が住んでいるが、地域との交流等がなく、訪問しても出てこない。安否確認には行っているが、物音がしないと心配。これから先、このような高齢者・独居老人が増加してくるのではないかと、接触していく方法等必要
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題としては、家の中で引き籠りになると心配。近くで気楽に集まって話せる場所があると良いと思う。また、一人暮らしで買い物等出かけることが出来ない方々について、少しでもお手伝いできればと思う ・近くに連絡先がない人、親戚の人であってもそちらも高齢で連絡できない人にも困った ・地域のサロンに参加する人はよく見るのですが、来ない人は他の行事にも出られないよう。近くの人との繋がりも、コロナの関係で難しかった。訪問は大切ですが、コロナの時は難しい ・各民生委員の熱意の差が大きいので、時々ついていけない時がある

<p>課 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で人が集うことが少なくなり、近隣や地域での交流が減るばかりで、情報も途切れがちなのか心配される今頃、高齢の方々が心身健康で楽しい日常が送れる工夫をすることが、自分も含めこれからの課題と思う ・話しながらいかに本人の心の内を聞きださないと力になれないな、とも思った
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進む中、地域でも高齢者世帯が増えている。困りごとの相談支援についても多様化し、特にこの3年コロナ禍の中では、人との交流が少なくなったことで孤立感が心配だった。そのような中、民生委員のつなぎ役として一番頼りになる包括支援センターでは、少ないスタッフでよく相談を受けてくれた。大変だろうといつも思う。スタッフの数を増やすことはできないか？ ・成年後見制度については、民生委員としては介入できない部分が多いので、アンケートについては記入できないことがある ・人や世帯の数がどんどん減っているのに、委員の種類や数は昔のまま。むしろ、防災士など増えている。今の割り当ては田舎の地域ではもう無理がある ・民生委員は人口割に地域に委嘱されているはずだと思いますが、民生委員によって担当する人数が偏っている ・行政職員の民生委員に対する理解度が低い。民生委員を行政の小間使いくらいにしか思っていない職員がいるように思うことがある ・民生委員交代期に後任候補選任にあたって、候補者選考する区長が民生委員について十分に認識していない ・行政が区長会等を通じて、1年以上前から認識してもらう努力をすべき。 ・ちょっと具合の悪い気になる人の所に訪問すると、ご飯を食べていない、食べるものがない、ジュースもないと言う。とりあえず食べてないので、買い物に行ってあげ、大分にいる娘さんに電話するけど、返事もこない。次の朝も訪問する。パンは食べかけ、ジュースも飲みかけ、薬も飲んでいない。今まで近所付き合いがあまりなかったようで、人が寄り付かない、結局は入院したのだが、それでも娘さんは何も言ってこない。いろんな家族があるものだなと思った。民生委員はどこまでお世話をしてあげたらよいのかなと思った ・仕事をしている人が民生委員をしていると無理があります。区の選考基準をもう少し考えてもらいたい

その他	<ul style="list-style-type: none">・地域での草刈りなどのボランティア活動が、全体の高齢化でできにくくなっていることを心配する声がある。少し若い人たちの負担が増えていて、その方々もその内高齢に・・・・民生委員間の勉強会が欲しかった。(活動についての疑問、問題、不安、失敗など) もう少し、生の声を聞きたかった。プライバシーの関係で問題はあると思いますが・・・・対応の難しい方?や、今後の方向性がどうなるのかなと思う方に対して、担当ケアマネさんと情報の共有が出来たことが、とても良かった。(包括支援センターを訪ねる際は、日程の調整をしてくださり、お忙しい中面談して頂いた。また、担当ケアマネさんよりお電話を頂いたり、いつも丁寧に対応して下さいありがとうございました
-----	---